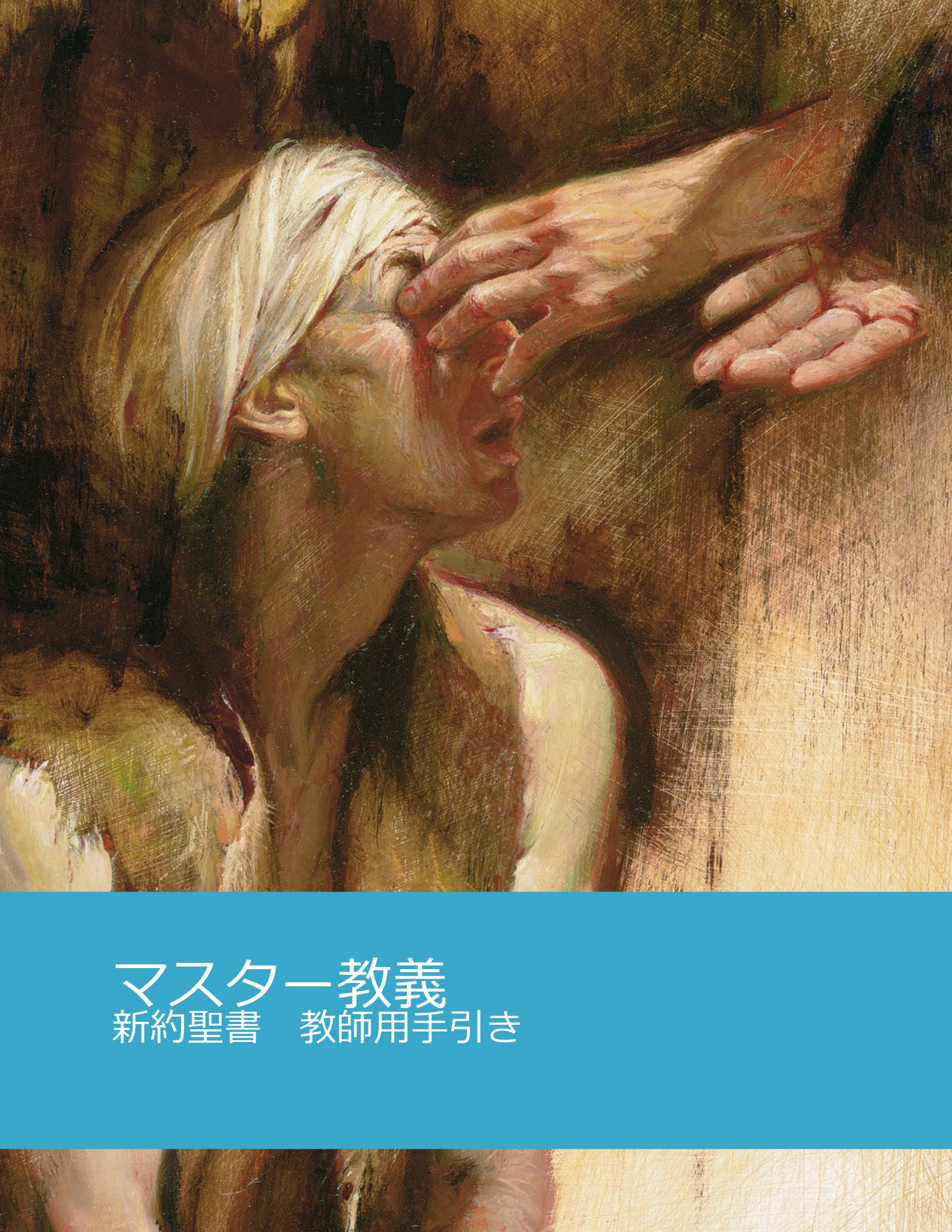


マスター教義
新約聖書　教師用手引き

マスター教義
新約聖書　教師用手引き

発行
末日聖徒イエス・キリスト教会
ユタ州ソルトレーク・シティー

ご意見やご提案をお待ちしています。以下にお送りください。

Seminaries and Institutes of Religion Curriculum Services
50 E North Temple Street
Salt Lake City, UT 84150-0008 USA
Email: ces-manuals@ldschurch.org
名前，住所，ワード名とステーク名をご記入ください。

コメントを書く際，必ず手引きの書名をお書きください。

© 2016 Intellectual Reserve, Inc.
All rights reserved.
印刷：日本
バージョン2，2016年6月

英語版承認：2016年1月
翻訳承認：2016年1月
原題：**Doctrinal Mastery New Testament Teacher Material**
Japanese
13231 300

目次

教師への指示 v
霊的な知識を得る 1
神会 12
救いの計画 16
イエス・キリストの贖罪 22
回復 28
預言者と啓示 32
神権と神権の鍵 42
儀式と聖約 48
結婚と家族 51
戒め 57

教師への指示

宗教教育セミナリー・インスティテュートの目的には以下のようにあります。「わたしたちは生徒に，聖典と預言者の言葉に見いだされるままの福音の教義と原則を教えます。」（『福音を教え学ぶ—宗教教育セミナリー・インスティテュートの教師ならびに指導者用手引き』）セミナリーにおいては，1冊の聖典を初めから終わりまで書や節の自然な流れに従って，聖典を配列どおりに学ぶことによって，その目的が達成されます。十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は次のように強調しています。「この読み方は，生ける水を飲むための最も基本となる読み方です。」（“A Reservoir of Living Water”〔ヤングアダルトのための教会教育システムファイヤサイド，2007年2月4日〕，3，lds.org/broadcasts）

イエス・キリストの教義を理解し，信じ，それに従って生活するように生徒たちを助けるもう一つの方法は，マスター教義の取り組みを行うことです。マスター教義は，マスター聖句や基本的教義の学習などのようにこれまで宗教教育セミナリー・インスティテュートで行われてきた取り組みに基礎を置き，取って代わるものです。マスター教義では，生徒が次の結果を得られるようにすることを目指しています。

1. 霊的な知識を得るために神の原則を学び，応用する。
2. イエス・キリストの福音の教義とその教義を教えている聖句に精通する。特に次の9つのテーマに関連する教義に焦点を当てていきます。
    - 神会
    - 救いの計画
    - イエス・キリストの贖罪
    - 回復
    - 預言者と啓示
    - 神権と神権の鍵
    - 儀式と聖約
    - 結婚と家族
    - 戒め

宗教教育セミナリー・インスティテュートは，教師と生徒がその目標を達成できるように助けとなる教材を制作しました。そのような教材の中には，『マスター教義に関する基本文書』や『マスター教義教師用手引き』などが含まれています。（**注：**『マスター教義教師用手引き』は，セミナリーの4コースそれぞれに対して用意される予定です。）

マスター教義に関する基本文書

『マスター教義に関する基本文書』は生徒を対象に用意されています。その内容は，（1）マスター教義とは何か，どのように役立つか，（2）霊的な知識を得るための原則を教える説明，（3）上にリストアップされた教義テーマに関

するセクションです。それぞれの教義テーマの下には，生徒の生活に関連する教義，彼らにとって理解し，信じ，応用することが大切な教義が説明されています。

『マスター教義に関する基本文書』の中の「霊的な知識を得る」と「教義テーマ」のセクションに含まれている教義と原則の幾つかは，マスター教義聖句によってその根拠が与えられています。一つ一つの学習コース（旧約聖書，新約聖書，モルモン書，教義と聖約と教会歴史）には，それぞれ25のマスター教義聖句があり，全部で100の聖句があります。『マスター教義に関する基本文書』の後ろに，これらの聖句のリストが掲載されています。生徒がこれらの聖句を覚えて見つけられるようになるように助けること，またこれらの聖句が救い主の教義をどのように教えているかを理解するように助けることは，教師であるあなたの大切な役割の一つです。

マスター教義聖句は100ありますが，その一つ一つの聖句は，『マスター教義に関する基本文書』に収められている一つの教義の直接的な根拠として使われています。例えば，教義テーマ4「回復」の中で引用されているジョセフ・スミス－歴史1：15－20は，**父なる神とその御子イエス・キリストはジョセフ・スミスの祈りにこたえて御姿を現し，ジョセフを回復の預言者として召された**という真理の根拠として使われています。しかし，教義テーマ1「神会」の**神会は，それぞれ独立した御三方，すなわち，永遠の御父とその御子イエス・キリストと聖霊によって構成されている**という教義の根拠として，同じマスター教義聖句を使うこともできますそのため，このマスター教義聖句は，そのテーマの関連聖句として掲載されています。

各マスター教義聖句がどこで引用されているかを知っていれば，その年の『マスター教義教師用手引き』のどの学習経験の中でその聖句が扱われているかが理解できます。先ほどの例では，ジョセフ・スミス－歴史1：15－20は，『マスター教義教義と聖約および教会歴史教師用手引き』の「回復」の学習経験の中で扱われるでしょう。

全ての教義テーマが，毎年同じように強調されるというわけではありません。全ての教義テーマは毎年扱われますが，その年のコースの聖典に含まれているマスター教義聖句が根拠となっている教義だけが，その年のマスター教義のレッスンの中で強調されることになります。

マスター教義に関する基本文書

マスター教義の教科課程は，その年のコースの聖典を学ぶ間に学習するべき10の学習経験から成っています。それぞれの学習経験のために用意された教材は，1回以上のクラスを使って教える必要があるでしょう。

最初の学習経験では，霊的な知識を得ることに関連した原則を生徒が学び，応用するのを助けることに焦点が当てられます。この部分は学年度の最初の2週間のうちに教えるべきです。そうすることにより，マスター教義とは何か生徒が理解できるように助けることができるでしょう。さらに，この「霊的な知識を得る」学習経験の中で学ぶ原則は，引き続き年間を通して学ぶ9つの学習経験の大切な土台となり，何度も復習することになるでしょう。

その後の学習経験の一つ一つは，上にリストアップされた9つの教義テーマの一つに基づいています。それらは，救い主の教義をさらに深く理解し，もっと

生活に応用できるように生徒たちを助けてくれます。個々の学習経験は，「教義を理解する」「実践練習」「マスター教義の復習」という3つの主要素によって構成されています。

教義を理解する。各学習経験のこのパートには，1回かそれ以上のクラスで教えることのできる学習活動やセグメントが含まれています。これらの活動は，各教義テーマや各テーマに関連する特定の教義に対する生徒の理解を深めるように助けるものです。

「教義を理解する」の活動は，通常『マスター教義に関する基本文書』の中の教義テーマを学習することから始まります。さらに，それぞれの活動は，その年のコースの聖典に含まれているマスター教義聖句を根拠とする特定の教義に焦点が当てられています。例えば，『マスター教義新約聖書教師用手引き』の中の「神会」という教義を学ぶ学習経験の中では，生徒がヘブル12：9に精通するように助けるという指示が教師に与えられています。セミナリーの生徒が「モルモン書」や「教義と聖約および教会歴史」を学ぶ年には，『マスター教義に関する基本文書』の「神会」に関する教義を説明する他の文章の根拠となっているマスター教義聖句に焦点が当てられることになります。

「教義を理解する」の活動の中で，生徒たちはマスター教義聖句を見つけ，印を付け，学習するよう励まされ，その聖句を使って，その聖句が根拠となっている教義を教えたり説明したりできるようになります。生徒が教義とその教義の根拠となっている聖句に精通するように助けるために必要であれば，その他の学習活動を追加するとよいでしょう。

実践練習。それぞれの学習経験には，生徒たちに少なくとも一つの実践練習が用意されています。この練習は通常，事例研究，ロールプレー，シナリオ，質問など，生徒が参加したり，小グループやクラス全体で話し合ったりできるもので構成されます。この練習は，今学んでいる教義が今日の生活の中でどのように関係があるのかを生徒が理解するために欠かせません。また，福音に従って生活するときに，また福音を教えたり，信じていることを説明したりするときに相手を怖がらせたり怒らせたりしないでできるようになるために，学んだ原則が祝福や支えとなることを強調します。

マスター教義の復習。教義そのものや教義の根拠として使われているマスター教義聖句をたびたび復習することは，生徒が教義に精通する助となります。どの学習経験にも，学年を通じて学んでいる教義やそれに関連するマスター教義聖句を生徒が復習するのを助けるアイデアを掲載したセクションが含まれています。

マスター教義を実施する

マスター教義が実施される方法は，生徒が登録しているセミナリープログラムのタイプによって異なります。これらのタイプには，デイリーセミナリー（早朝，リリーストタイム），オンラインセミナリー，家庭学習セミナリーがあります。

デイリーセミナリーにおけるマスター教義

教師は年度を通じて，クラスの時間から毎週3約0分をマスター教義に使うことが期待されています。10の学習経験の一つ一つに対して何週間使うかは，それ

それの教義テーマの中で強調し，学ぶ教義やマスター教義聖句の数によって異なるでしょう。あるテーマは2週間で学ぶことができるでしょうし，別のテーマはもっと多くの週が必要になるでしょう（下の『新約聖書マスター教義学習進度ガイド』参照）。

マスター教義の各学習経験にある「教義を理解する」というパートは，各々5ー10分で終えられる幾つかの学習活動（セグメント）に分かれています。これにより，マスター教義のためにクラスの時間をどのように使うか柔軟に考えることができます。例えば，今日はクラス時間の中で一つか二つの学習活動を行うように計画するかもしれませんし，明日はクラス時間の全部を聖句ブロックを十分に教えるために使う必要があり，マスター教義を教える時間が取れないかもしれません。学習活動の中にはもっと時間が必要なものもあります。そのような場合には，フレックスデーを使うとよいでしょう（教師用手引きの付録にある「デイリークラスを教えるための学習進度ガイド」「フレックスデーに関する提案」参照）。

マスター教義の中にある鍵となる聖句をテーマ別に扱うことに加えて，生徒とともに聖典を配列順に学んでいる途中で出会ったときにもその聖句を強調するべきです。そうすることで，生徒たちはそれぞれの聖句の背景と内容をよりよく理解することができ，それらの聖句が教えている真理の大切さをさらに深く感じることができるでしょう。

デイリーセミナリーでは，マスター教義はマスター聖句に基づいており，今後はそれに取って代わります。これまでマスター聖句として認識されてきたマスター教義聖句に対して，『新約聖書セミナリー教師用手引き』には，聖典を配列順に学びながら聖句を提示して適切に強調するための学習活動が提案されています。マスター教義聖句が導入されたばかりの場所では，教師用手引きにまだそれらの聖句が示されていません。聖典を配列順に教えながら，それらの聖句を効果的かつ適切に強調していくことが大切です。

注：『新約聖書セミナリー教師用手引き』の中でマスター聖句として示されている聖句の中には，マスター教義聖句ではないものもあります。それらの聖句は，手引きで指示されているように強調されることはなくなりますが，聖典を配列順に学ぶ自然の流れの中で教えていくべきです。

新約聖書マスター教義学習進度ガイド

新約聖書の10の学習経験の一つ一つに対して何週間使うかは，それぞれの教義テーマの中で強調し，学ぶ教義のポイントや聖句の数によって異なるでしょう。マスター教義のためには，次の学習活動を使って毎週30分程度を費やすべきです。

- 教義を理解する
- 実践練習
- マスター教義の復習

例えば，以下の学習進度ガイドでは，神会に関するマスター教義の学習活動のために2週間が割り当てられいます。第1週の月曜には，「教義を理解する」の1番目のセグメントを行ってもよいでしょう。火曜には，2番目と3番目のセグメントを行い，水曜には3ー5分のマスター活動（自分で考えたものや『新約聖書

セミナリー教師用手引き』の付録にある資料から選んだもの）を行ってもよいでしょう。木曜には聖句ブロックを十分に教えるためにクラスの時間を全部使う必要があるためマスター教義の活動は省き，金曜に「教義を理解する」の4番目のセグメントを行ってもよいでしょう。第2週には，もう一つの「教師が選ぶマスター活動」と「実践練習」と「マスター教義の復習」を行なってもよいでしょう。

『新約聖書セミナリー教師用手引き』で翌週のレッスンを確認しながら，『マスター教義新約聖書教師用手引き』に記されているマスター教義の学習活動を確認するなら，マスター教義のための時間をどのように割り当てればよいか分かるでしょう。レッスンの一部を要約して，マスター教義の学習活動や実践練習のための時間を作り出す必要があるでしょう。

次の学習進度ガイドは，教義のポイントを『マスター教義に関する基本文書』に出てくる順序で教えることを前提にして作られています。しかし，「霊的な知識を得る」の学習経験を最初に教えることさえ守られていれば，そのほかの教義テーマはどの順序で教えてもかまいません。次の二つの方法について考えてください。

- 教義テーマを『マスター教義に関する基本文書』に出てくる順序で教える（最初に「神会」を教えて，最後に「戒め」を教える）。
- 可能な限り，生徒たちが日曜の集会で学ぶ教義テーマに合わせて教える。

週	教義のテーマ
1	霊的な知識を得る
2	
3	
4	
5	神会
6	
7	救いの計画
8	
9	
10	
11	
12	
13	贖罪
14	
15	
16	

週	教義のテーマ
17	回復
18	
19	
20	預言者と啓示
21	
22	
23	
24	神権と神権の鍵
25	
26	儀式と聖約
27	
28	結婚と家族
25	
26	戒め
31	
32	

オンラインセミナリーにおけるマスター教義

マスター教義の学習経験は，セミナリーのオンラインレッスンにも取り入れられる予定です。オンラインセミナリークラスを教えている場合は，前の「デイリーセミナリーにおけるマスター教義」のセクションを読んで，オンラインセミナリーに応用できる重要な原則や方法を理解すると役に立つでしょう。

家庭学習セミナリーにおけるマスター教義

今のところ，家庭学習セミナリーの教師と生徒が使える資料はマスター教義の中に含まれていません。ですから，教師と生徒は現在使われている家庭学習用教材を使い，マスター聖句の活動を継続するべきです。家庭学習用教材が更新されるまでは，教師は生徒に『マスター教義に関する基本文書』を配付することと，自分でその資料とマスター教義聖句を学ぶように励ますことが奨励されています。

霊的な知識を得る

第1部（40分）

注：第1部と第2部は，40分クラスを2回行って教えることができます。あるいは，80分クラスを1回行って一緒に教えることもできます。

永遠の真理を探す

真理という言葉をホワイトボードに書き，生徒たちに以下の質問をします。

- 真理を見つけたり，学んだりするのが難しいのはなぜでしょうか。

数人の生徒の答えを聞いた後で，次の質問をホワイトボードに書きます。**どうすれば真理を学び，真理を知ることができるでしょうか。**

大管長会のディーター・F・ウークトドルフ管長が「盲人と象」という古代のたとえを使って，真理を学ぶことの難しさについて教えたことを説明してください。

ウークトドルフ管長の次の言葉を示すか，この言葉のコピーを生徒全員に配付するとよいでしょう。一人の生徒に，この言葉を声に出して読んでもらいます。他の生徒には，目で追いながら，このたとえはわたしたちが真理を見つけるときに経験する困難な状況についてどのように示しているか探してもらいます。

100年以上も昔のことですが，あるアメリカの詩人が，古代のたとえ話を詩にしました。その詩はこういうように始まります。

> **インドの6人**
> **博学で**
> **みんなで象を見に行った**
> **（みんながみんな盲人で）**
> **納得するまで**
> **触ってた。**

詩の中では，6人の旅人がそれぞれ象の異なった部分に触り，それから，自分の発見したことをほかの人に説明します。

そのうちの一人は，象の足に触れて，それは丸くて，木のようだったと説明します。別の一人は，牙に触れて，象とはやりのようなものだと説明します。3番目の人は尻尾をつかみ，象というのはロープのようなものだと主張します。4番目の人は胴に触れて，象というものは巨大な蛇のようなものだと主張します。

それぞれが真理をついています。

そして，それぞれの真理は個人的な経験からもたらされていますので，それぞれが自分の知っていることに間違いはないと主張します。

この詩は最後にこうなります。

> **インドの6人，**
> **声上げて**
> **自分の考え**
> **譲らない。**

> **みんなが正しく，**
> **皆，間違い！**
>
> 〔ジョン・ゴッドフリー・サックス，The Poems of John Godfrey Saxe（1873年）135–36，books.google.com〕」
>
> （「真理とは何か」〔教会教育システムデボーショナル，2013年1月13日〕，www.lds.org/broadcasts/article/ces-devotionals/2013/01/what-is-truth?lang=jpn）

- このたとえは，真理を見つけることの難しさをどのように表しているでしょうか。
- 真理を見つけることには，他にどのような難しさがあるでしょうか。
- この6人が象についてもっと正確な理解を得るためには，何が助けになるでしょうか。（例えば，象の全体を見ることのできる人から助けを受けるなど。）

神は永遠の真理の源である

セミナリーで学んでいると，生徒は真理に対する理解を増す多くの機会があることを説明してください。生徒が効果的に真理の知識を増すことができるように，マスター教義と呼ばれる取り組みが導入されつつあります。この取り組みには，霊的な知識を得るための原則を学び応用することや，イエス・キリストの福音の鍵となる教義をより深く理解することが含まれます。

生徒に『マスター教義に関する基本文書』を配付し，「霊的な知識を得る」のセクションを開いてもらいます。生徒に，最初の段落を黙読しながら，永遠の真理の源を探してもらいます。

見つけたことを発表するように生徒たちに言います。次の教義に印をつけるように勧めるとよいでしょう。**神は万事を御存じで，あらゆる真理の源であられる**。）

生徒がこの教義をさらに深く理解する助けとして，一人の生徒に，声に出してモーサヤ4：9を読んでもらいます。他の生徒には，目で追いながら，神があらゆる真理の源であられるとなぜ確信できるかを理解するために，この節がどのように助けになるか見つけてもらいます。

- この節のどのような言葉が，神が唯一の信頼できる真理の源であられることを表しているでしょうか。
- 神をあらゆる真理の源であると確信することはなぜ大切だと思いますか。（真理の源がどなたであるかを知ることが，真理を得るための第1のステップであることを生徒が理解できるよう助けてください。）

霊的な知識を得る方法

一人の生徒に，『マスター教義に関する基本文書』の「霊的な知識を得る」のセクションの第1段落の最後の文と第2段落全体を読んでもらいます。他の生徒には，目で追いながら，神に霊的な真理を明らかにしていただくために，わたしたちにできること探してもらいます。

生徒たちに見つけたことを発表してもらいます。霊的な真理を得るために行うべきことをより深く理解できるように，クラスを4つのグループに分けて，各グループに以下のマスター教義聖句を一つ，あるいは1セット割り当てます。

- モロナイ10：4－5
- ヨハネ7：17
- ヤコブの手紙1：5－6；2ニーファイ32：8－9
- 2テモテ3：15－16；2ニーファイ32：3

これから5分間で，割り当てられた聖句をグループで読んで，次の質問に従って読んだことについて話し合ってもらうことを説明してください。（次の質問を掲示するか，プリントにして配付するとよいでしょう。）

1. これらの聖句には，霊的な真理を求める原則について，どのような真理が教えられていますか。
2. これらの聖句は，霊的な真理を求める方法を理解するうえで，どのような助けとなるでしょうか。
3. 霊的な真理を得るこの方法について，あなたにはどのような経験がありますか。

十分に時間を取った後，各グループから一人を選んで，話し合った事柄をクラス全体に分かち合ってもらいます。各グループが見つけたことを発表する際に，割り当てられた聖句が教えている「霊的な学びを得る方法」を含むように注意してもらいます。

それぞれのグループが発表した後，霊的な真理を得ることに関して付け加えたい事柄や分かち合いたい経験はないか，クラス全体に尋ねてもよいでしょう。その後で，次の質問をしてもよいでしょう。

- わたしたちが霊的な知識を得ようとするときに，これらの真理を求める方法は，互いにどのように関係しあうでしょうか。

一人の生徒に，十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老の次の言葉を読んでもらいます。他の生徒には，スコット長老は霊的な知識を得るために何が求められると教えているか注意深く聞くように指示します。

「大いに価値のある知識を身につけるには，計り知れない努力が必要です。霊的な知識を得ようとするときは，特にそうです。」（「霊的な知識を得る」『リアホナ』1994年1月号，98）

- 霊的な知識を得る前に，わたしたちが自分のなすべきことを行うことを主が期待しておられるのは，なぜだと思いますか。
- あなたの経験の中で，天の御父や御子イエス・キリストについての証や，御二方の教えが真実であることについての証など，霊的な知識を得るために払った努力は，なぜ価値のあるものなのでしょうか。

霊的な知識を得るためには，個人的に最善の努力をする必要があることを証してください。天のお父様は喜んでわたしたちに教えてくださいますが，そのためには，わたしたちも喜んで自分の役割を果たさなければ成りません。

質問し，答えを探し求めることは，真理を学ぶための重要な取り組みの一環である

一人の生徒に，『マスター教義に関する基本文書』の「霊的な知識を得る」のセクションの第3段落を読んでもらいます。他の生徒には，目で追いながら，霊的な知識を得る努力をするうえで問いを持つことの大切さについて，この段落が何を教えているか見つけてもらいます。

生徒に見つけたことを発表してもらいます。それから，ホワイトボードに次の真理の要約を書きます。**質問し，答えを探し求めることは，真理を学ぶための重要な取り組みの一環である。**

- 真理を学ぶ努力をしているときに浮かんでくる質問の答えを熱心に探すことが大切なのはなぜだと思いますか。

生徒が，霊的な真理を得るために必要なこの要素の大切さを理解できるように，一人の生徒にディーター・F・ウークトドルフ管長の次の言葉を読んでもらいます。他の生徒には，正しい問いを持つことについてウークトドルフ管長が何を教えているか，注意深く聞くように指示します。（この言葉のコピーを生徒全員に配付するとよいでしょう。）

「霊的な真理について，自分が正しい道にいることはどのように分かるのでしょう。

一つの方法は正しい問い掛けをすることです。自分の進み具合について思い巡らし，物事が自分にとってどう進んでいるかを評価するために，次のように問い掛けます。

『わたしの人生には意味があるだろうか。』

『わたしは神を信じているだろうか。』

『神がわたしを御存じで，愛してくださっていることを信じているだろうか。』

『神がわたしの祈りを聞き，こたえてくださることを信じているだろうか。』

『わたしは本当に幸せだろうか。』

『自分の努力によって，人生で最も霊的に高い目標や価値に近づいているだろうか。』

このような人生の目的に関する深遠な問い掛けにより，世界中の多くの人や家族が真理を探し求めるようになりました。その結果として，末日聖徒イエス・キリスト教会と回復された福音に導かれた人もいます。」「すばらしく益になっています！」『リアホナ』2015年11月号，20－21）

- ウークトドルフ管長のこの言葉は，正しい問いを持つことの重要性を理解するのにどのように役立つでしょうか。

生徒たちに，問いを持ち，熱心にその答えを探すことによって，霊的な知識に導かれた人々の例を聖典の中から思い出せるかどうか尋ねます。（例として，

ジョセフ・スミス—歴史1：10—20；エノス1：1—8；教義と聖約138：1—11などが含まれるだろう。）

「霊的な知識を得る」のセクションの第3段落の終わりにある次の原則を指摘してください。**質問し，答えを探すときのわたしたちの姿勢や意図は，聖霊を通して学ぶ能力に大きな影響を与える**。各自の『マスター教義に関する基本文書』のこの原則に印をつけるよう生徒に勧めるとよいでしょう。

誠実に問うことと，自分の行いの正当化や他人を批判したり，わなにかけたりするために質問することの違いを示すために，生徒たちに二人一組になって，ゼーズロムが最初にしていた質問と，彼がアルマとアミュレクの証を聞いた後にした質問を比較するように指示してください。一組の生徒にアルマ10：31—32；11：21を，もう一組の生徒にアルマ12：8を静かに調べてもらいます。ゼーズロムの質問が誠実であったか，あるいは，別の動機が隠されていたかについて学んだことを，各自のパートナーに説明してもらいます。割り当てられた節についてパートナーと話し合った後で，次の質問をクラス全体にしてください。

- ゼーズロムの最初の質問と，彼がアルマとアミュレクの証を聞いた後でした質問とでは，動機や態度にどのような違いがあるでしょうか。
- アルマ12：8によれば，アルマとアミュレクの証を聞いた後，ゼーズロムはどのような真理を求めるようになったでしょうか。（アルマとアミュレクの証を聞いた後で，ゼーズロムはまだ質をしたが，質問の本質が変わっていたことを指摘してください。ゼーズロムは「神の王国についてもっと多く知ろうとして、熱心に……尋ね」はじめました。）

アルマ12—13章で教えられているすばらしい教義のほとんどが，質問の結果もたらされたことを説明してください。これらの質問と答えは，最終的に，イエス・キリストの福音にゼーズロムが帰依するのを助けることとなりました。（アルマ14：6；15：3—12参照）。

誠実な問いを持ち，熱心に答えを求めることの大切さについて証を述べるとよいでしょう。誠実な問いに主が答えてくださることを，あなたがどのように知るようになったか，分かち合うことを検討してください。

第2部（40分）

教義的な質問や歴史的な質問に答える

一人の生徒に，十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長の次の言葉を読んでもらいます。

若い人々は『理由』を知りたいと思います。すなわち，**行うように**に命じられる事柄もあれば，**行わないように**に命じられる事柄もあるのは，なぜかと。（“The Great Plan of Happiness”（教会教育システム宗教教育者への講話，1983年8月10日）si.lds.org

他のことではなく，なぜそれを命じられたのかと疑問に思ったことはないか，生徒たちに尋ねます。例えば，なぜ神は安息日を聖く保つよう命じておられるのだろう，また，なぜ神は性的な愛情表現が許されるのは法律に基づいて結婚した男女の間のみであると命じておられるのだろうと不思議に思う人もいます。霊的な知識を得ることに関するレッスンのこの部では，末日聖徒イエス・キリスト教会の教義，習慣，または歴史について生徒自身が疑問を持つときや，他の人から質問を受けたときに，生徒を導いてくれる原則を学ぶことを目的としているということを指摘してください。

真理の源について，また，霊的な知識を得る方法について学んだ次の教義を生徒たちに思い出させてください。「神は万事を御存じで，あらゆる真理の源であられます。」この真理は，教会について理解しがたい疑問があるときに助けになることを説明してください。

次の原則を見せるか，ホワイトボードに書いてください。

- **信仰をもって行動する**
- **永遠の視点から概念や疑問について調べる**
- **神が定められた情報源を通してさらに理解を深める**

これらの原則は，わたしたちが永遠の真理を学び，理解し，疑問や問題を解決しようとするときに指針となることを説明します。

信仰をもって行動する

生徒たちに，『マスター教義に関する基本文書』の「霊的な知識を得る」のセクションから，原則1「信仰をもって行動する」を読んでもらいます。読みながら，教会について自分自身や他の人が抱いている質問に対する答えを見つける際に役に立つ原則を探し，印を付けてもらいます。

生徒に見つけたことを発表してもらいます。もし生徒たちが触れなかった場合，次の原則を指摘してください。**理解を深め，懸念していることを解決しようと努めるときに，イエス・キリストと福音の回復，主が聖任された預言者の教えに対して自分がすでにもっている証に頼ることは重要である。**

- 難しい質問や問題に対する答えを理解を誠実に求めるときに，これらの原則はどのように役に立つと思いますか。

生徒たちに，問題，不安，または疑問にぶつかったときに，これらの原則から祝福を受けた経験を紹介してもらいます。

一人の生徒に，十二使徒定員会のニール・L・アンダーセン長老が分かち合った次の経験を読んでもらいます。難しい状況に直面したときに，若い女性が信仰によってどのように行動したかを注意して聞くように，クラス全体に伝えます。

「先日わたしは，アメリカ合衆国出身の，あるローレルの若い女性と話しました。彼女の電子メールから引用します。

『この1年間，フェイスブックで友達になった人たちが結婚についての意見を投稿し始めました。多くの人が同性結婚に賛成し，末日聖徒の青少年の数人がそうした意見に対していいね（訳注―フェイスブックで他の人の投稿に対する好意的な気持ちや同意を示すための機能）を押していました。わたしは何も書きませんでした。

わたしは従来の結婚観を信じているということを注意深く述べることにしました。

自分のプロフィール写真のキャプションとして，『わたしは男女間の結婚が正しいと信じています』と書きました。ほぼ即座にメッセージが返ってきました。『あなたは利己的よ。』『独善的ね。』わたしのことを奴隷所有者に例えた人もいました。活発な教会員の親友からは，こう書かれました。『時代遅れにならないようにね。世の中が変わっているのだから，あなたも変わらなくては。』

わたしは反論しませんでしたが，自分の意見を削除しませんでした。

最後に彼女はこう言いました。「モンソン大管長がおっしゃったように，『時には，一人でも気高く立たなくてはなりません。』わたしたち教会の青少年が一致して，神と神の生ける預言者の教えに忠実に従うよう願っています。」（「霊を滅ぼす嵐」『リアホナ』2014年5月号，19－20）

- 難しい状況に直面したときに，若い女性がどのように信仰をもって行動したかを注意して聞くように，クラス全体に伝えます。
- 信じていることを擁護して，このような批判を受けたことがありますか。あなたはどのように応じましたか。

生徒たちに，すでに知っている知識を大切に守り，難しい問題に直面したときに揺らがないことによって祝福を受けた経験や証を強めた経験をクラスに分かち合うように勧めてください（ジェフリー・R・ホランド，「主よ，信じます」『リアホナ』2013年5月号，94参照）。イエス・キリストと主の預言者の教えに対する自分の証に常に忠実に生きることを決意するよう生徒たちを励ましてください（ジョセフ・スミス訳ルカ14：28参照）。

永遠の視点から概念や疑問について調べる

使徒パウロの時代の人々は，今日わたしたちが直面ような多くの疑問や不安に直面していたことを説明してください。生徒たちに，1コリント2：5，9－11を黙読して，霊的な真理を理解するために何が必要であるとパウロが教えたか見つけてもらいます。預言者ジョセフ・スミスが霊感を受けて11節に変更を加えたことを説明してもよいでしょう（ジョセフ・スミス訳1コリント2：11参照）。

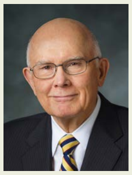
生徒たちに，これらの節が霊的な真理を理解する方法について教えていることを要約してもらいます。「神の深み」を極めるためには神の御霊によるしかない（1コリント2：10），つまり，真理は啓示によってしか理解されないことを，生徒が理解できるように助けてください。

一人の生徒に，『マスター教義に関する基本文書』の「霊的な知識を得る」のセクションから，原則2「永遠の視点から概念や疑問について調べる」を読ん

でもらいます。他の生徒には，目で追いながら，御霊の助けを求め，永遠の視点から概念や疑問について調べるにはどうすればよいかを見つけてもらいます。

生徒たちに，原則2に挙げられている真理の中で，自分の疑問について調べる最善の方法を理解する助けとなる真理を見つけてもらいます。ホワイトボードに生徒の答えを書いてください。（生徒たちの答えには次のような原則が含まれているでしょう。**永遠の視点を持つと，この世の前提や推論を受け入れる代わりに，主の真理の標準に基づいて，疑問を見直し（疑問に対して別の見方をする），概念を見ることができるようになる。わたしたちが天の御父と御父が定められた救いの計画に対する信頼の基の上に堅く立っているならば，さまざまな問題をよりはっきりと見ることができる。**）

自分の疑問や他の人々の疑問について考える際にこれらの原則が役に立つことがよく理解できるように，一人の生徒に十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老の次の言葉を読んでもらいます。疑問の前提となっている推論について考えることがなぜ重要なのか，ということに注意して聞くよう生徒に言います。（この言葉のコピーを生徒全員に配付するとよいでしょう。）



「わたしたちは，神が明らかにされた〔救いの計画〕とその他の真理を知っているため，これを知らない人々とは異なる前提〔や信条〕をもって始めます。その結果，わたしたちは，人々がこの現世についての自分たちの見解によってのみ判断している多くの重要な事柄について，異なる結論にたどり着きます。……

……より良い対処法としては，自分が直面するこの世的な主張を支えている前提は何かを見極め，さらには，末日聖徒の考え方の指針となっている異なる前提は何かを見極めることです。そうすることで，たとえわたしたちの教会に属していない人々から同意を得ることはできなくとも，結論に関して議論する方向から，意見の相違をもたらす真の根源を明確にする方向に話し合いを導くことができます。」（“As He Thinketh in His Heart”〔ダリン・H・オークス長老との夕べ2013年2月8日〕，broadcasts.lds.org）

- わたしたちの前提や推論は，わたしたちが抱く疑問や，たどり着く結論にどのような影響を与えるでしょうか。（この世の前提や推論で始めた人は，この世の結論にたどり着くことを生徒が理解できるように助けてください。しかしながら，わたしたちは永遠の真理を理解したいと願っているので，神と神の救いの計画についてすでに知っていることを基にしながら質問について考えることが大切です。）

神と神の救いの計画に対する知識は，神が与えられる戒めの目的を理解する助になることを指摘します。対照的に，天の御父の救いの計画について同じ知識を持っていない人たちは，わたしたちが見ているのとは違う観点で戒めを見ると思われます。

人が抱いている前提や推論と，質問と，その人がたどり着く結論の関係を示すために，次の質問をホワイトボードに書いてください。**愛に満ちた神は，幸せになるために何でもできる自由を与える代わりに人に戒めを与えることによって，わたしたちの権利を狭めたり，権利を奪ったりされるのでしょうか。**

- この問いを投げかけるとき，人はどのような前提から考え始める可能性があるでしょうか。
- 天の御父と御父の計画についてどのような真理を知っているおかげで，この質問を御父の視点から見ることができるでしょうか。
- この永遠の視点があるため，この問題に対するわたしたちの理解のしかたは，他の人たちとどのように違うでしょうか。

生徒たちに，永遠の視点から考えることが大切なその他の疑問や問題にはどのようなものがあるか挙げてもらいます。生徒たちの述べたことをホワイトボードに書くとよいでしょう。それから，概念や疑問を永遠の視点で調べるという原則が，それらの疑問や問題をより明確に理解したり，主の真理の標準に基づいて評価したりするうえでどのように役に立つか，生徒たちに尋ねます。生徒たちが話し合っている間に，以下のような追加の質問をするとよいでしょう。

- 回復や，預言者ジョセフ・スミスの召しや，モルモン書が真実であることに関して，聖霊の力を通して霊的な証を持っていることは，教会についての疑問に直面したときに，どのように助になるでしょう。
- 世の人々が男女間の結婚という定義に疑問を投げかけるときに，男女間の結婚は神によって定められたものであり，家族は神の計画とわたしたちの幸福の中心を成すものであるという知識は，あなたの考え方にどう影響するでしょうか。

永遠の視点から考えたときに，概念や疑問をよく理解することができたという経験を，生徒自身や生徒のよく知っている人の経験の中から分かち合うように生徒たちに勧めます。あなた自身の経験を話してもよいでしょう。

神が定められた情報源を通してさらに理解を深める

この「霊的な知識を得る」の教師用手引きの第1部で紹介されている，ディーター・F・ウークトドルフ管長が引用した「盲人と象」という題の古代のたとえを題材にした詩を，生徒たちに思い起こさせます。生徒たちに，この詩は真理を見つけたり理解したりするときの難しさをどのように表しているか説明してもらいます。

一人の生徒に，『マスター教義に関する基本文書』の「霊的な知識を得る」のセクションから，原則3「神が定められた情報源を通してさらに理解を深める」を読んでもらいます。他の生徒には，目で追いながら，真理を見つけて理解するための助として神がわたしたちに与えておられるものを見つけてもらいます。見つけた箇所にしるしをつけるよう提案してもよいでしょう。

- 真理を見つけて理解するための助として，神はわたしたちに何を与えておられるでしょうか。
- 主が定められた真理の源に頼るときに，わたしたちはどのような祝福を得ることができるでしょうか。（この話し合いの一部として，生徒たちに次の原則に印をつけるように勧めるとよいでしょう。**わたしたちが，神が定められた情報源に答えと導きを求めるならば，祝福されて真理と誤りを識別することができる。**）

- 盲人と象についての詩は，答えと導きとして神が定められた情報源に頼ることの必要性をどのように示しているでしょうか。

原則3「神が定められた情報源を通してさらに理解を深める」の第2段落の最初の一文には次のように書かれていることを指摘してください。「わたしたちはさらに，他の信頼できる情報源を通して真理を学ぶことができます。」

- その他の信頼できる情報源から見つかる真理を，どのように認識することができるでしょうか。
- 信頼できない情報源に注意することはなぜ大切なのでしょうか。

生徒たちに，疑問や問題にぶつかったときに，答えを得るために神が定められた情報源に頼ることによって祝福を受けた経験を紹介してもらいます。あなた自身の例を紹介する準備をしておくとよいでしょう。

一般の人々が関心を抱いている教会に関する様々な情報を提供したり，メディアを通して流される偏った情報や誤った情報を正すためにある教会公式ウェブサイトmormonnews.jpについて生徒たちに話す（そして可能であれば見せる）とよいでしょう。また，「福音のテーマ」のページtopics.lds.orgを生徒たちに見せるとよいでしょう。「福音のテーマ」の論文には，歴史的，教義的に難しい問題に関して率直に書かれた貴重な情報が数多く含まれています。

学年を通して，彼らは新約聖書を配列順に教える方法を学ぶと同時に，『マスター教義に関する基本文書』の9つの教義テーマ（このテーマは日曜学校の青少年教科課程のテーマと一致しています）と，各トピックに関連したマスター教義聖句を学ぶことになります。各テーマを学ぶときに，彼らはこのレッスンで述べられている霊的な知識を得るための原則を使って，現実の疑問や，問題や，個人的な応用の機会について考えることになります。

難しい概念や疑問に直面するときにこれらの原則を応用することの大切さについて，あなたの証を分かち合ってください。主は御自分の御霊を通して彼らに教えたいと望んでおられることを生徒に約束します。信仰をもって主に頼るとき，主は答えと導きを与えてくださることでしょう。

マスター教義の復習

分級したときに，次の活動を使って，霊的な知識を得ることに関するこの学習経験の第1部と第2部で引用されている新約聖書のマスター教義聖句を生徒が復習できるように助けるとよいでしょう。

クラスが始まる前に，次のマスター教義聖句をホワイトボードに書いておきます。**ヨハネ7：17；1コリント2：5，9－11；2テモテ3：15－17；ヤコブの手紙1：5－6**

生徒たちを2ー3人程度のグループに分けてください。ホワイトボードに書いたマスター教義聖句を一つずつ各グループに割り当てます。グループ内で一緒に聖句を読んで，その中で教えられている教義を見つけるように指示します。

生徒が見つけたことを分かち合ってもらいます。（これらの聖句に関連する真理がどのように説明されているか見るために，この学習経験ですでに学んだ資料や**New Testament Seminary Teacher Manual**（『新約聖書セミナリー教師用手引き』）の関連するレッスンを参照するとよいでしょう。）

次に，グループで協力して，教えられている教義を最もよく言い表すために使うことのできる言葉を幾つか聖句の中から選んでもらいます。例えば，ヤコブの手紙1：5―6の場合，生徒たちは**知恵**，**不足**，**神**，**願い求める**という言葉を選ぶことでしょう。

ヨハネ7：17を割り当てられたグループから初めて，グループの中の一人の生徒に，ホワイトボードの聖句の下に自分たちが選んだ言葉を書いて，なぜその言葉を選んだか説明してもらいます。（一つの聖句に複数のグループが割り当てられていたら，各グループの一人の生徒に，グループで選んだ言葉をホワイトボードに書いてもらいます。もしも違う言葉が選ばれていたら，クラス全体がどの言葉を使ったらよいか合意できるように助けてください。）クラス全体で，ホワイトボードに書かれている聖句の場所と選ばれた言葉を読んでもらいます。残りの3つの聖句でも同じことを繰り返してください。

次回以降の数回のクラスを開始するときに，これらのマスター教義聖句と生徒たちが各聖句に対して選んだ言葉を復習するとよいでしょう。

神会

注：次のマスター教義の活動は，数回のクラスを通じて行うことも，1回のクラスで行うこともできます。

教義を理解する（35分）

セグメント1（10分）

末日聖徒イエス・キリスト教会の会員として，わたしたちは天の御父と，イエス・キリストと，聖霊の役割について明確な理解を与えられていることを説明します。

クラスを3ー4人一組のグループに分けます。次の指示のコピーをそれぞれのグループに配り，指示に従って活動をしてもらいます。

> 自分の冊子『マスター教義に関する基本文書』の中から，教義テーマ1，「神会」が記されている場所を見つけてください。このテーマの全ての段落を順番で声を出して読み，神会についての理解を深めてくれる箇所を探します。
>
> 読み終わったら，グループ内の一人一人に，次の質問の一つに答えてもらいます。
>
> - 神会について，または，神会の中のどなたかについて，新たに理解したことが何かありましたか。
> - あなたは，神会について，または，神会の中のどなたかについてのどの教義を理解することが特に大切だと思いますか。それはなぜでしょうか。

十分に時間を取ってから，数人の生徒に，グループ内で話し合ったことをクラス全体に発表してもらいます。

セグメント2（5分）

生徒たちに，『マスター教義に関する基本文書』の教義テーマ1，「神会」を開いてもらいます。その後，質問します。

- 神はわたしたちの霊の父親であるという教義を教えるためにどの聖句を使うことができますか。（ヘブル12：9。）

生徒たちにヘブル12：9を開いてもらいます。この聖句には，使徒パウロから当時の教会員の中のユダヤ人に与えられた教えが含まれていることを説明します。パウロは会員たちが神の訓練，あるいは矯正や教えにどう応じるべきか理解できるように助けようとしていました（ヘブル12：7参照）

一人の生徒に，ヘブル12：9を声に出して読んでもらいます。他の生徒には，目で追いながら，パウロが神に対して何という称号を使っているかを見つけてもらいます。

- パウロは神に対してどのような称号を使っていましたか。

生徒たちに自分の聖典のヘブル12：9の隣の余白に，次の真理を書くことを検討するように勧めてください。**神はわたしたちの父親である。**モロナイ7：41

はマスター聖句であることを指摘する。この聖句を素早く見つけることができるように，特別な方法で印を付けるように勧めるとよい。

セグメント3（10分）

ヘブル12：9をクラス全体で声を出して読みます。この節から神について学べる教義を生徒たちに言ってもらいます。

神はわたしたちの父親であるという教義に対する理解を深めてもらうために，数人の生徒たちに順番でLDS.orgの福音のテーマに含まれている次の言葉を声を出して読んでもらってください。（可能であれば，生徒たちが自分でこの言葉を見つけることができるように，福音のテーマを操作する方法を見せるとよいでしょう。）

> 「末日聖徒イエス・キリスト教会は，全人類は男性も女性も，天の両親，すなわち天の父と天の母から愛されている霊の子供であると教えています。……
>
> 末日聖徒はキリストの御名により天の父を礼拝しますが，天の母に向かって祈ることはありません。これは，イエス・キリストが示された模範に倣っています。イエスは弟子たちに「わたしの名によって常に父に祈らなければならない」と教えられました。3ニーファイ18：19－21末日聖徒は天の父に祈るよう教えられていますが，ゴードン・B・ヒンクレー大管長が述べたように，「わたしたちが天の母に祈らないからといって，それは決して天の母に重きを置いていないことにはならないのです。」〔「教会の女性」『聖徒の道』1997年1月号，79〕
>
> 福音の他の多くの真理と同様に，天の母に関するわたしたちの現在の知識は限られています。それにもかかわらず，わたしたちはこの教義の神聖さを正しく認識し，天の両親の子であるわたしたちのために定められた天の規範を理解するに足る十分な知識を与えられています。（福音のテーマ「天の母」ds.org/topics

- わたしたちは天に父と母の両方がいらっしゃることを理解することは，なぜ有益でしょうか。

セグメント4（10分）

ヘブル12：9と神はわたしたちの霊の父親であるという教義を復習するために，次の指示のコピーを各生徒に配り，指示に従って活動をしてもらいます。

> 十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長の次の言葉を読んで深く考えてください。
>
> 「皆さんは，神の子です。神は皆さんの霊の父です。霊について言えば，皆さんは天の王の子孫であり，高貴な生まれなのです。この真理を心に刻み込んで，決して忘れないようにしましょう。皆さんの肉親の先祖が，何代先までさかのぼろうと，皆さんがどのような人種や民族に属そうと，皆さんの霊の系図はたった1本しかありません。皆さんは，神の子なのです。」（「若い男性，女性の方々へ」『リアホナ』1989年7月号）
>
> 聖典学習帳かクラスノートに次の質問の答えを書いてください。
>
> - あなたは自分が神の子供であることをどのようにして知るようになりましたか。

- 神があなたの霊の父親であるということを知っていると，自分に対する感じ方と自分の選択は，どのように変わるでしょうか。
- 神があなたの霊の父親であるということを知っていると，他の人に対する見方や他の人への接し方はどのように変わるでしょうか。

十分な時間を与えた後，書いたことを分かち合いたいと思う一人か二人の生徒に発表してもらいます。

次回以降の数回のクラスの最初の数分間，例えばクラスディボーショナルの一部として，その他の生徒たちに書いたことを分かち合うように勧めてもよいでしょう。もしそうするなら，最初に分かち合う生徒にヘブル12：9を声に出して読んで，神はわたしたちの父親であるという教義を再び述べてもらうように勧めてください。この聖句と教義を繰り返すことは，生徒たちがこの真理を覚えるのに役立ちます。

練習問題（12－15分）

生徒たちに，『マスター教義に関する基本文書』の「霊的な知識を得る」のセクションを開いてもらいます。3つの原則の意味を復習してください。信仰をもって行動する。永遠の視点から概念や疑問について調べる。神が定められた情報源を通してさらに理解を深める。

クラスを2─3人一組のグループに分けます。次の配付資料のコピーをそれぞれのグループに配り，完成してもらいます。

1. 次のシナリオを声を出して読んで，この若い女性と同じような気持ちを感じたことがないか，考えてください。

   レアは家族や数人の友人との関係で困難を経験していました。ある夜，彼女は祈ろうと思ってひざまずきましたが，祈り始めることができませんでした。彼女はフラストレーションを感じて，「どうして神様はわたしのことを気にかけてくださらないの」とつぶやきました。レアはベッドに腰掛けて，最近のいやな出来事を思い出しながら，それは全部神様が自分のことを気にかけておられない証拠だと思いました。

   数日後，青少年の活動のときに，若い女性の指導者がレアに「調子はどう？」と声をかけました。レアは「あまり良くありません」と答えました。「今いろいろと大変なんです。」リアの指導者は質問を続けました。すると，リアは神様が自分のことを気にかけておられないという気持ちを話し始めました。

2. 次の質問についてグループで話し合います。

   - これらの原則には，信仰をもって行動することや，永遠の観点から概念や疑問について調べること，神から与えられた情報源を通してさらに理解を深めようとすることなどが含まれています。

3. 引き続き2つ目のシナリオを読んでください。

   リアの指導者は心からの同情を示して，尋ねました。「神様があなたのことを気にしておられると強く感じたことはある？」

   リアは少し考えてから，神様が自分の祈りに答えてくださった経験を思い出しました。リアは指導者にそのことを話します。指導者はこう答えます。「すば

らしい経験を話してくれてありがとう。わたしは，神様はわたしたちのお父様で，わたしたちを愛してくださっていることを知っているわ。っして，あなたを愛し，気にかけておられることを知っているわ。でも，自分からお父様に近づこうとしなければ，お父様の愛を感じ難いこともあるわね。最近，お父様に近づくためにどんなことをしたかな？」

「毎晩，お祈りをしているわ。でも，今経験している難しいことについて天のお父様にお祈りしていなかったわ」と，レアは答えます。

「天のお父様は，あなたの言葉を聞きたいと思っていらっしゃるわ。あなたはお父様の娘なんだもの。お父様に自分の悩みや疑問を話してみてくれる？」レアの指導者はそう尋ねます。

「はい」とレアは答えます。レアはさらに言います。「ありがとうございます。必要なことを思い出させてくださって，感謝します。」

4. 次の質問についてグループで話し合います。
   - 信仰をもって行動するというレアの決断は，レアにどのような祝福をもたらすと思いますか。
   - 神を遠くに感じたり，神は自分の今の状況について気にしておられるのだろうかと感じるときに，神についてあなたが知っているどのような知識が，あなたにとって助になるでしょうか。

十分に時間を取ってから，それぞれの組に，話し合ったことを発表してもらいます。

最後に，神はわたしたちの霊の父親であること，神はわたしたち一人一人を御自分の子供として気遣っておられることを証するとよいでしょう。生徒たちに，自分たちは神の子供であることをいつも覚えておくように勧めてください。

マスター教義の復習

このコースで生徒がこれまでに学んだ新約聖書マスター教義聖句を一つ一つホワイトボードに列挙します。各生徒にそれぞれ別のマスター教義聖句を割り当ててください。生徒たちに，自分に割り当てられたマスター教義聖句に含まれている原則や教義を応用することができるシナリオや状況を紙に書くように指示します。

生徒が書き終えたら，彼らが作ったシナリオを集めます。一つのシナリオを声を出して読んで，生徒たちにその事例に応用すると役に立つマスター教義聖句を見つけてもらいます。そのマスター教義聖句で教えられている真理がそのシナリオにどのように応用できるか説明するように，生徒に勧めてください。別のシナリオを読んで，この活動を繰り返します。明日から一週間，各クラスの最初または最後に，別のシナリオを提示してもよいでしょう。

救いの計画

注：次のマスター教義の活動は，数回のレッスンを通じて行うことも，一回のレッスンで行うこともできます。

教義を理解する（60－70分）

セグメント1（10分）

世界中の多くの人が，天の御父の救いの計画について正確に，あるいは詳しく理解していないということを伝えます。しかし，末日聖徒イエス・キリストの会員であるわたしたちには，天の御父の計画を理解する助けとなる聖文の知識と預言者の教えが祝福として与えられています。

前世，現世，来世を含む救いの計画の絵を生徒たちに描いてもらいます。描き終わったら，生徒を二人一組に分け，『マスター教義に関する基本文書』の教義テーマ2「救いの計画」を読み，絵に描き加えられる，さらに詳しい内容がないか探してもらいます。生徒たちに，新たに見つけた詳しい内容と，その内容が神の計画をよりよく理解するためにどのような助けとなるか，二人組の相手に説明するように言います。

セグメント2（10分）

生徒たちに，『マスター教義に関する基本文書』の教義テーマ2「救いの計画」に目を通し，新約聖書の参照聖句から示された教義についての文章に印を付けてもらいます。それには以下のものが含まれます。

- **この計画を成就し，天の御父のようになるには，わたしたちは御父と御子イエス・キリストを知り，御二方の属性と特質を正しく理解する必要があります**（ヨハネ17：3参照）。
- **わたしたちの体は神聖であり，天の御父からの贈り物として尊ばなければなりません**（1コリント6：19－20参照）。
- **全ての人はいずれ福音の原則を学び，その儀式と聖約を受ける機会を与えられます。忠実な人の多くは，霊の獄にいる人々に福音を宣べ伝えます。福音を受け入れ，悔い改め，神殿で自分に代わって執行される救いの儀式を受け入れることを選ぶ人々は，復活までの間パラダイスに住みます**（1ペテロ4：6参照）。
- **イエス・キリストが肉体の死に打ち勝たれたので，地上に生を受けた人は全て復活します**（1コリント15：20－22参照）。
- **最後の裁きが復活の後に行われます。全ての人が受ける永遠の栄光を決めるために，イエス・キリストがそれぞれの人を裁かれます。この裁きは，各人の望みと，神の戒めに対する従順さに基づいて行われます**（黙示20：12参照）。
- **王国には3つの栄光があります。日の栄えの王国，月の栄えの王国，星の栄えの王国です**（1コリント15：40－42参照）。

セグメント3（20－25分）

上に挙げられている教義やマスター教義聖句の一部，または全てを選んで，以下の活動の中で使います。一部の文章のみを使う場合は，後日，残りの教義やマスター教義聖句を使って同じ活動を繰り返すようにしてください。

友達から救いの計画についての質問に答える場面を，生徒たちに想像してもらいます。選んだマスター教義聖句について，二人組か少人数のグループで学ぶよう割り当てます。生徒たちが選んだ文章について学ぶ際に話し合う内容として，以下の質問をホワイトボードに書きます。

- **『マスター教義に関する基本文書』の中で教義の根拠となっているマスター教義聖句を使って，教義をどのように説明しますか。**
- **天の御父の救いの計画についてあまりよく知らない人にとって，聖文や教義はどのように助けとなりますか。**
- **マスター教義聖句の中の教義と教えは，自分の今の生き方にどのような影響を与えると思いますか。**

十分な時間を取った後，何人かの生徒に自分たちの答えをクラス全体に発表してもらいます。話し合いと理解をさらに深めるために，以下のような質問をするとよいでしょう。

- これらの教義を理解することは，わたしたちや世の中の他の人々にとってなぜ大切なのでしょうか。
- これらの教義は，天の御父の救いの計画に関するどのような質問の答えとなるでしょうか。

セグメント4（20－25分）

以下の質問をそれぞれ別々のカードか紙に書き，教室のテーブルの上に裏返して置きます。

- **救われるためにはイエス・キリストの福音を受け入れなければならないとすれば，福音を知らずに亡くなった人はどうなるのでしょうか。**
- **誰が復活するのでしょうか。**
- **どこかに問題があったとしても，自分の体に感謝しないといけないのはなぜでしょうか。**
- **全ての人はいつか天国か地獄に行くと聞きました。それは本当なのでしょうか。**
- **わたしが得られる一番大切な知識は何でしょうか。**
- **この世でのわたしの選択は，死後の自分に起こることにどう影響するのでしょうか。**

必要に応じて，教義テーマ2「救いの計画」に関連する新約聖書のマスター教義聖句を復習します。ホワイトボードに，これらの質問に関する以下の参照聖

句を書くとよいでしょう。ヨハネ：17：3；1コリント6：19―20；1コリント15：20―22；1コリント15：40―42；1ペテロ4：6；黙示20：12。

生徒を二人一組に分けます。一組の生徒に教室の前に出て来てもらいます。クラスの残りの生徒は，教会の教えについて質問がある友達の役をすることを説明します。テーブルの上のカードは，救いの計画についての友達からの質問を表しています。前にいる一組の生徒に，救いの計画について学んだマスター教義聖句と教義を使って，質問にどう答えることができるかを考えてもらいます。前の二人組にカードを選んでもらい，クラスの他の生徒にその質問を読んでもらってから，二人にマスター教義聖句を使ってその質問に答えてもらいます。他の生徒たちにも質問に答えてもらうように，前の二人組を交代してこの活動を繰り返します。（**注**：この活動に割り当てる時間を短くする場合は，一回の活動で全ての質問に答えるのではなく，毎回一つか複数の質問に答えるようにするとよいでしょう。）

最後に，この活動を通して自分の理解と証がどのように強められたかを生徒たちに聞きます。

実践練習（30―40分）

『マスター教義に関する基本文書』の「霊的な知識を得る」のセクションを使って，生徒たちが次の3つの原則を使う練習をし，救いの計画について学んだ教義に当てはめるよう助けてください。「信仰をもって行動する」「永遠の視点から概念や質問について調べる」「神が定められた情報源を通してさらに理解を深める」以下の活動はこれを達成する助けとなります。これらの活動は，あなたのスケジュールや生徒たちの状況や必要に応じて，一度に，あるいは何回かに分けて行うことができます。

練習1（20―25分）

以下の文章を声に出して読み，これがソーシャルメディアの投稿であると生徒たちに想像してもらいます。

「モルモンのことは理解できない。なぜ制限だらけの人生を送っているのだろうか。入れ墨やアルコール，結婚前の性行為もだめで，服も慎ましくないといけない。自分の体や人生なんだから好きにすればいいじゃないか。他人を傷つけなければ，何をしてもいいと思う。モルモンはもっと柔軟に考えた方がいい。」

生徒に，この投稿に対する返事を書いてもらいます。返事の中で，1コリント6：19―20と，「霊的な知識を得る」の3つの原則を使うようにしてもらいます。ホワイトボードに原則を書きます。

- **信仰をもって行動する。**
- **永遠の視点から概念や疑問について調べる。**
- **神が定められた情報源を通してさらに理解を深める。**

神が定められた情報源を通して，生徒たちがさらに理解を深めるのを助けるために，『聖句ガイド』に載っている他の聖句を調べてもらうとよいでしょう。また，わたしたちの体の神聖さについて説明している教会の指導者の言葉を調べてもらってもよいでしょう。可能であれば，電子機器を使ってLDS.orgを検索するか，教会機関誌の中からこれらの言葉を探すことができます。例として，十二使徒定員会のD・トッド・クリストファーソン長老が語った次の言葉を声に出して読みます。

「肉体は進化が偶然に生み出した結果以外の何物でもないと考える人は，自分の肉体であるいは肉体に何をしようと，神に対してもだれに対しても責任を感じません。しかしながら，前世，現世，来世というもっと広遠な永遠の流れが存在することに証を持っているわたしたちは，神が最高傑作として創造してくださったこの肉体について，神に対する義務があることを認めなければなりません。パウロの言葉を紹介します。

『あなたがたは知らないのか。自分のからだは，神から受けて自分の内に宿っている聖霊の宮であって，あなたがたは，もはや自分自身のものではないのである。

あなたがたは，代価を払って買いとられたのだ。それだから，自分のからだをもって，神の栄光をあらわしなさい。』（1コリント6：19－20）

これらの真理……を念頭に置けば，わたしたちは，肉体を入れ墨で損なったり，薬物で痛めたり，私通や姦淫などの不道徳な行為で汚したりすることは決してしないでしょう。わたしたちの肉体は自分の霊の器なので，最善を尽くして大切に扱う必要があります。肉体の力を，奉仕をし，キリストの業を進めるために奉献するのです。」（「奉献された生活についての熟考」『リアホナ』2010年11月号，17参照）

返事を書き終わったら，それをお互いに読み合って，投稿の質問に答える際に3つの原則をどのように使ったかを話し合ってもらいます。幾つかの返事をクラス全体に発表してもらい，それらが「霊的な知識を得る」の原則にどのように従っているかを話し合います。

最後に，今日学んだ教義に基づいて，より良い生活を送るためにどうすればいいかを考えるように勧めます。

練習2（10－15分）

救いの計画の教義を説明する助けとなる新約聖書のマスター教義聖句について，短く復習をします。次に，一人の生徒に次のシナリオを声に出して読んでもらいます。生徒たちに，救いの計画の教義がホセの選択をどのように助けられるかを考えてもらいます。

「もっと早く。」ゴールのチャンスを逃したホセに向かってコーチは叫びました。ホセの友人シルビアは，見るからに不満そうな様子でベンチに戻る彼を見ていました。彼女は，ホセがどれほど活躍したいと思っていたかを知っていました。ホセはこのサッカーチームに入るために一生懸命練習してきました。速さや強さはチームの中で一番ではありませんでしたが，コーチたちも感心するような個性的な技術がありました。

数年前にホセがシルビアのいるワードに引っ越して以来，二人は仲良しでした。シルビアは彼の優しさだけでなく，神権の義務に熱心に取り組む姿に感心していました。そして信仰を同じくする友達を持てたことに感謝していました。

シルビアはホセがバッグから水筒を取り出し，バッグの底から緑の錠剤を一つ手に取るのを見ました。彼女は，ホセが水を何口か飲みながらそれを飲み込むのを見て顔をしかめました。チームの友人が何日か前に，彼に違法な増強剤を渡していたのです。ホセはそれを飲むようになってから，プレーするときにもっと強くなったと感じると言いました。

シルビアは彼がその日の朝にもその錠剤を飲んでいたのを見たので，彼女は彼に何か言おうと決めました。「それを飲むのは良くないって分かっているでしょ。」彼女は言いました。「それにコーチに知られたら，絶対にチームから外されるわよ。」

「大したことじゃないよ」と彼は答えました。「自分の体のことだし，他の仲間みたいに強くて速くなれたらやめるよ。このことについて話すのはもうやめにしよう。」

- このシナリオからどのような問題が読み取れますか。
- ホセの考えや態度のどこが間違っていたでしょうか。
- シルビアはこの状況をどう思っているでしょうか。

生徒がこれらの質問に答えた後，「霊的な知識を得る」の3つの原則，すなわち，「信仰をもって行動する」「永遠の視点から概念や疑問について調べる」「神が定められた情報源を通してさらに理解を深める」ということについて生徒に思い出してもらいます。

二人の生徒に，一人はシルビア役として，もう一人はホセ役として話の続きをロールプレイしてもらってもよいでしょう。シルビア役の生徒には，ホセが自分の選択を考え直すのを助けるために「霊的な知識を得る」の3つのうち一つ，あるいは複数の原則をどのように使うかを実演してもらいます。ホセ役の生徒には，思いやりのある誠実な態度で答えるようにしてもらいます。

ロールプレイをした後，他の生徒たちにどのような原則がロールプレイの中で示されていたかを見つけてもらいます。また，ロールプレイの中で原則をさらによく実践する方法についてクラス全体から意見を聞いてもよいでしょう。

この活動で学んだ教義と原則についての証を分かち合うように生徒に勧めてください。

マスター教義の復習

生徒がマスター教義聖句を覚え，応用するのを助けるために，後日，復習をする必要があります。年度を通して，これらの聖句を復習する機会を見つけるようにしてください。

以下の活動は，『マスター教義に関する基本文書』の教義テーマ2「救いの計画」に挙げられている6つの新約聖書のマスター教義聖句を，生徒が覚えられ

るよう助けることを目的としています。この活動を調整して，生徒たちが今年度学んだ他のマスター教義聖句を含めてもよいでしょう。

生徒一人一人に，以下の新約聖書のマスター教義聖句についての小テストのコピーを渡します。この小テストは救いの計画の教義を理解する助けとなります。生徒が質問の中の参照聖句や鍵となる言葉に慣れるように，前もって定期的にこれらの聖句を復習する必要があるかもしれません。小テストの前に，生徒が聖典と『マスター教義に関する基本文書』の教義テーマ2「救いの計画」を使い，二人一組になって数分間勉強する時間を取ってください。その後，小テストを行いますが，生徒たちには各番号の空欄に正しい参照聖句を書き入れるように言います。

クラス全体で小テストの答え合わせをし，質問があれば答え，必要であれば聖句についてさらに説明してください。

1. ____________________「あなたがたは知らないのか。自分のからだは，……聖霊の宮……である。」
2. ____________________「死人はそのしわざに応じ，この書物……にしたがって，さばかれた。」
3. ____________________「日の栄光があり，月の栄光があり，星の栄光がある。死人の復活も，また同様である。」
4. ____________________「死人にさえ福音が述べ伝えられた〔。〕」
5. ____________________「アダムにあってすべての人が死んでいるのと同じように，キリストにあってすべての人が生かされるのである。」
6. ____________________「永遠の命とは，唯一の，まことの神でいますあなたと，また，あなたがつかわされたイエス・キリストとを知ることであります。」

生徒にこれらの参照聖句や鍵となる言葉を覚えるように勧めてください。数週間以内に，また他の方法でこれらの聖句について小テストを行ってもよいでしょう。

小テストの答え：（1）1コリント6：19—20；（2）黙示20：12；（3）1コリント15：40—42；（4）1ペテロ4：6；（5）1コリント15：20—22；（6）ヨハネ17：3。

イエス・キリストの贖罪

注：次のマスター教義の活動は，数回のレッスンを通じて行うことも，一回のクラスで行うこともできます。

教義を理解する（65分）

セグメント1（10分）

ホワイトボードに次の文章を書いてください。「贖罪によって，イエス・キリストはわたしたちの罪を赦す以上のことをわたしたちのためになさることができます。」

救い主の贖罪によって，罪を赦されること以上に受けている祝福を生徒に挙げてもらいます。生徒たちの答えをホワイトボードに書きます。

生徒たちに，『マスター教義に関する基本文書』の教義テーマ3，「イエス・キリストの贖罪」を開いてもらいます。数人の生徒に，最初の5つの段落を順番に声に出して読んでもらいます。他の生徒には，読んでいる箇所を目で追ってもらい，イエス・キリストの贖罪のおかげで受けられる祝福を見つけてもらいます。

見つけたことを発表してもらい，ホワイトボードに挙げられていないものがあれば書き加えます。

生徒に4段落目に注目し，以下の真理について書かれた箇所に印を付けてもらいます。**信仰をもって主のもとへ行くとき，救い主はわたしたちが重荷を背負い，自分では行うことのできないことを成し遂げられるように強めてくださるでしょう**。

- 現世においてわたしたちが負う重荷や，直面する試練のうち，わたしたちの罪の結果ではないものには，どのようなものがありますか。

生徒に現在直面している試練について考えてもらいます。イエス・キリストの贖罪ついて学び続けることで，どのようにして試練を乗り越える力を救い主から受けられるかについて，生徒に考えてもらいます。

セグメント2（5分）

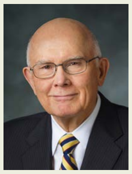
生徒を二人一組に分け，マスター教義聖句のマタイ11：28－30を一緒に読んで印を付けてもらいます。次の質問について生徒に話し合ってもらいます。

- この聖句は，先に取り上げた次の教義に関する文章についてどう説明していますか。信仰をもって主のもとへ行くとき，救い主はわたしたちが重荷を背負い，自分では行うことのできないことを成し遂げられるように強めてくださるでしょう。
- この聖句はわたしたちの責任について何を教えているでしょうか。
- わたしたちが救い主のもとへ行くことで，主が何をしてくださると教えているでしょうか。

セグメント3（5分）

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老とダリン・H・オークス長老による以下の言葉を生徒に提示するか，あるいはそのコピーを配ります。この二人の使徒の話が，マスター教義テーマ「イエス・キリストの贖罪」についてよりよく理解する助けとなり，特に，信仰をもって主のもとへ行くとき，救い主はわたしたちが重荷を背負い，自分では行うことのできないことを成し遂げられるように強めてくださるという教義をよりよく理解する助けとなることを説明します。二人の生徒に，これらの言葉を一つずつ声に出して読んでもらいます。他の生徒には，聞きながら，重荷を背負う上で救い主がわたしたちをどのように強めてくださるかについての教えを見つけてもらいます。

「わたしたちが現世で直面する肉体的な痛み，霊的な傷，苦悩や心痛，病や弱さのうち，救い主が経験なさらなかったものは一つもありません。自分の弱さに悩むとき，『この苦しみは誰にも分からない』と声を上げることがあるかもしれません。しかし，神の御子は全てを完全に理解しておられます。わたしたち一人一人の重荷を負われたからです。そして主は無限にして永遠の犠牲をささげたので（アルマ34：14参照），わたしたちの気持ちを完全に理解し，憐れみの腕を伸べることがおできになります。主は手を差し伸べ，触れ，助け，癒し，強め，わたしたちが自分でなれる以上の者にしてくださり，自分の力では決してできないことをできるようにしてくださいます。」（デビッド・A・ベドナー「容易に重荷に耐えられるように」『リアホナ』2014年5月号，89－90）



「贖いはまた，『あらゆる苦痛と苦難と試練』に耐える強さを与えてくれます。それは，救い主がその身に『御自分の民の苦痛と病』を受けられたからにほかなりません（アルマ7：11）。兄弟姉妹の皆さん，たとえ皆さんの信仰と祈りと神権の力によって皆さんが苦難から癒されないとしても，贖いの力によって，皆さんは確かに，重荷に耐える力を受けることができるのです。」（ダリン・H・オークス「主は重荷を負っている人を癒される」『リアホナ』2006年11月号，9）

何人かの生徒に，印象に残った語句や教えと，それによってイエス・キリストの贖罪から得られる祝福についての理解をどのように深められるかを分かち合ってもらいます。

- あなたやあなたの知り合いは，救い主からこのような助けや力を受けるという祝福をどのようにして受けてきましたか。

最後に，信仰をもって救い主のもとへ行くとき，主がわたしたちを強めてくださることについて証を分かち合ってもよいでしょう。

セグメント4（5分）

最初に，現在，クリスチャンを含む世界の多くの人々が，イエス・キリストが復活した骨肉の体をお持ちだというを知らないということを説明します。イエス・キリストが不死不滅の肉体をもって復活したことがなぜ重要なのかを生徒に考えてもらいます。

一人の生徒に，ルカ24：36―39を声に出して読んでもらいます。他の生徒には，聞きながら，イエス・キリストの復活した体について何を教えているかを見つけてもらいます。ルカ24：36―39がマスター教義聖句だということを伝え，後で見つけやすいように，特別な印を付けるか，書き留めるように彼らに勧めます。

- この聖句によると，救い主は御自分が栄光に満ちた肉体をもって死人の中から蘇られたことを弟子に証するために，何をなされましたか。

聖典の中のルカ24：36―39の近くに，「**イエス・キリストは栄光に満ちた不死不滅の骨肉の体で墓より出てこられた**」という教義を書くように生徒に勧めます。

セグメント5（5分）

ホワイトボードに次の教義と質問を書きます。

イエス・キリストは栄光に満ちた不死不滅の骨肉の体で墓より出てこられました。

1. **イエス・キリストはなぜ最初に復活した御方となることがおできになったのでしょうか。**
2. **イエスが栄光に満ちた不死不滅の骨肉の体をもって復活されたことは，全人類にどのような影響を与えているでしょうか。**

生徒たちに，『マスター教義に関する基本文書』の教義テーマ3，「イエス・キリストの贖罪」を開いてもらいます。クラスを二つに分け，一つのグループに第2段落を黙読するよう割り当て，ホワイトボードにある一つ目の質問の答えを探してもらいます。もう一つのグループに第3段落を黙読するよう割り当て，ホワイトボードにある二つ目の質問の答えを探してもらいます。

十分な時間を取った後，一つ目の質問について調べた生徒たちに考えを発表してもらいます。次に，二つ目の質問について調べた生徒たちに学んだことを発表してもらいます。

セグメント6（5分）

イエス・キリストが栄光に満ちた不死不滅の骨肉の体で墓より出てこられたという教義を生徒たちがより深く理解することができるよう，ディーター・F・ウークトドルフ管長の以下の話を画面で示すか，コピーを配ってください。一人の生徒に声に出して読んでもらいます。他の生徒には，話を聞きながら，昔の預言者が復活されたイエス・キリストを目にしたときに，どのような影響を受けたかについて，ウークトドルフ管長が何と述べているかを探してもらいます。

「主が十字架上で亡くなられてからしばらくの時間，〔救い主の使徒たち〕は絶望と悲しみに打ちのめされ，何が起こったのか理解できずにいました。しかし一つの出来事がその全てを変えました。主が彼らに御姿を現し，次のように言われたのです。『わたしの手や足を見なさい。まさしくわたしなのだ。』〔ルカ24：39〕

その御方が復活されたキリストであると分かったとき，愛する救い主が栄えある復活を遂げられたことを経験によって知ったとき，使徒たちは別人になりました。どんなことも彼らがその使命を果たすのを妨げることはできませんでした。……彼らは至る所で人々の人生を変え，世界を変えました。」（「どんな状況にあっても感謝する」『リアホナ』2014年5月号，76）

- 使徒たちは復活されたイエス・キリストを目にしたことによって，どのような影響を受けましたか。
- 同じように，イエス・キリストが栄光に満ちた不死不滅の骨肉の体をもって復活されたというあなたの証は，あなたの人生にどのような影響を与えるでしょうか。

セグメント7（10分）

ホワイトボードに以下の真理を書いてください。「**イエス・キリストはわたしたちの罪の代価を払ってくださいましたが，わたしたち一人一人の責任を取り除かれたわけではありません**。」生徒にこのことがどういう意味か自分の言葉で説明してもらいます。

『マスター教義に関する基本文書』の教義テーマ3「イエス・キリストの贖罪」を開いてもらい，第5段落目を黙読してもらいます。ホワイトボードに書いてある文が段落の初めにあります。イエス・キリストの贖罪の力を受けるために行うべきことについての重要な教えを見つけるように勧めます。

- 救い主の贖罪による祝福を完全に受けるための，わたしたち個人の責任は何でしょうか。（わたしたちは主に対する信仰を働かせ，悔い改め，バプテスマを受け，聖霊を受け，人生の最後まで忠実に堪え忍ぶ必要があります。）

教義テーマ3「イエス・キリストの贖罪」の「イエス・キリストを信じる信仰」と「悔い改め」のセクションは，イエス・キリストの贖罪によって得られる祝福を受けるために何を行うべきかをよりよく理解する助けになることを説明します。一人の生徒に，「イエス・キリストを信じる信仰」のセクションを，もう一人の生徒に，「悔い改め」のセクションを読んでもらいます。他の生徒たちには，聞きながら，救い主の犠牲による祝福を享受するために行うべきことについて，重要な教えを書き留めてもらいます。（**注：**バプテスマと聖霊の賜物を受けるという儀式や，聖約を尊ぶことについては教義テーマ7「儀式と聖約」に書かれていることを説明するとよいでしょう。）

「イエス・キリストを信じる信仰」と「悔い改め」のセクションを読んだ後，生徒たちに，重要だと思った教義の言葉や教えを分かち合ってもらいます。

セグメント8（5分）

ホワイトボードに，次のような未完成の文章を書きます。「イエス・キリストを信じる真の信仰とは，______」

一人の生徒に，『マスター教義に関する基本文書』の教義テーマ3「イエス・キリストの贖罪」の中の「イエス・キリストを信じる信仰」のセクションを声に出して読んでもらいます。他の生徒に，聞きながら，ホワイトボードの文章をどのように完成させるかを考えてもらいます。

- ホワイトボードの文章をどのように完成させますか。（生徒が答えた後，次の教義を伝えるためにホワイトボードの文章を完成させてください。**「イエス・キリストを信じる真の信仰とは，行動へと導かれ，自分の生き方によって示すものです。」**）
- なぜ真の信仰は主イエス・キリストを中心としなければならないのでしょうか。
- 聖文の中には，イエス・キリストを信じる真の信仰が誰かを正しい行動に導いたどのような例がありますか。

セグメント9（5分）

ホワイトボードに「ヤコブ2：17－18」と書きます。この聖句がマスター教義聖句だということを説明した後，生徒に聖文の中からこの聖句を見つけて，黙読し，マスター教義用の特別な印を付けてもらいます。また，教義についての以下の言葉を聖句の近くに書くように勧めてもよいでしょう。「イエス・キリストを信じる真の信仰とは，行動へと導かれ，自分の生き方によって示すものです。」

セグメント10（10分）

クラスを3人または4人のグループに分けます。それぞれのグループにヨハネ2：17－18を声に出して一緒に読んでもらい，以下の質問に対する答えをクラス全体に発表する準備をしてもらいます。（質問を画面に示すか，生徒に配るためのプリントを準備しておくとよいでしょう。）生徒が読み始める前に，聖句の中に出てくる「行い」という言葉が，正しい行動を意味していることを説明するとよいかもしれません。

- なぜ行い（または正しい行動）を伴わない信仰は「死んだもの」であると思いますか。
- イエス・キリストを信じる真の信仰を必要とする行動には例えばどのようなものがありますか。
- 信仰と正しい行動との関係を初等協会の5歳の子供が理解できるよう教えるには，どうすればよいでしょうか。

十分な時間を取った後，一つか二つのグループに一つ目の質問に対する答えを分かち合ってもらい，他の一つか二つのグループに二つ目の質問に対する考えを分かち合ってもらいます。次に，少なくとも一つのグループに信仰と行動との関係を，幼い子供に教えるような方法で教えてもらいます。

クラスで話し合った後，正しい行動を通して救い主への信仰を働かせることの力について，あなたの証を分かち合うとよいでしょう。

実践練習（20分）

次の状況を生徒に読んで聞かせます。

ある末日聖徒の若い女性が，純潔の律法を含む教会の標準に反するような選択や行動をし始めています。彼女は，誰も完全な人はいないと言い，また教会やセミナリーには行っており，イエス・キリストを信じる信仰を持ち続けていると言って自分の行動を正当化しています。

以下の質問をホワイトボード上に示すか，プリントにして配り，少人数のグループになって話し合ってもらいます。

信仰をもって行動する

- この若い女性が自分の友人だったら，彼女がイエス・キリストや福音を信じる信仰を働かせられるよう何を行うことを勧めますか。

永遠の視点から問題や疑問について調べる

- 救いの計画やイエス・キリストを信じる信仰に関する真理のうち，この若い女性が自分の選択や行動をよりよく判断する助けとなるものには，どのようなものがあるでしょうか。

神が定められた情報源を通してさらに理解を深める

- イエス・キリストを信じる信仰を行いによって示すことの意味をこの若い女性が理解するのを助けるために，どのような聖句や預言者の教えを分かち合えばよいでしょうか。

イエス・キリストを信じる真の信仰とは，行動へと導かれ，自分の生き方によって示すものだということを証します。

マスター教義の復習

マスター教義聖句についてのヒントを生徒が自分で作ると，聖句に対する理解が深まります。ヒントには，質問や鍵となる言葉，場面設定，応用例などを含めるとよいでしょう。クラス全体で，あるいは小さなグループごとに，特定のマスター教義聖句を示すヒントを生徒たちに書いてもらいます。（あなたが生徒たちに学んだり復習したりしてほしいと思っている聖句を幾つかを選んでもよいでしょう。）次に，自分たちで考えたヒントを生徒たちに交代であなたを含めたクラス全体に発表してもらいます。マスター教義聖句を正しく当てられた人（あなた，もしくは他の生徒）に1点が与えられます。

回復

注：次のマスター教義の活動は，数回のクラスを通じて行うことも，1回のクラスで行うこともできます。

教義を理解する（40分）

セグメント1（6分）

ホワイトボードに次の質問を書いてください。「なぜ福音が回復される必要があったのでしょうか。」生徒たちに質問について話し合ってもらい，次に『マスター教義に関する基本文書』の教義テーマ4「回復」の箇所を開いてもらいます。一人の生徒に，「背教」のセクションを声に出して読んでもらいます。他の生徒たちには，聞きながら，イエス・キリストの十字架上の死と主の弟子の死後，何が起こったかを探してもらいます。

- イエス・キリストの十字架上の死と主の弟子たちの死後，何が起こったでしょうか。（生徒たちが以下の教義的な真理を見つけられるよう助けます。**「大背教は人々が福音の真理から遠ざかったときに起こり，主は神権の権能と鍵を地上から取り去られました。」**）
- 今読んだセクションに書かれていた大背教による問題には，どのようなものがありますか。

セグメント2（8分）

生徒たちに，『マスター教義に関する基本文書』の教義テーマ4，「回復」の箇所を開いてもらいます。「背教」のセクションに目を通してもらい，先ほど大背教について確認した教義を思い出してもらいます。次に，この教義の根拠となるマスター教義聖句を見つけてもらいます。

生徒に2テサロニケ2：1—3を開いてもらいます。後で見つけやすくするために，聖句に独特な印を付けてもらうとよいでしょう。

使徒パウロがこの聖句を書いたのは，主の再臨がすでに起きた，あるいはもうすぐ起こるのではないかと心配していた教会員たちを安心させるためだったということを説明します。一人の生徒に，聖句を声に出して読んでもらいます。他の生徒たちには，聞きながら，イエス・キリストの再臨の前に起こることについてパウロが何と述べているかを見つけてもらいます。

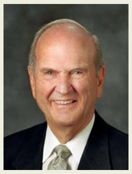
- パウロは主の再臨の前に何が起こると述べていますか。
- パウロは「背教」という言葉をどのような意味で使ったでしょうか（2テサロニケ2：3）。

必要であれば，ここでの「背教」とは，イエス・キリストの弟子の死後に起こった大背教のことだと説明します。

- この説明はパウロの時代の教会員をどのように助けることができたでしょうか。
- 使徒パウロによって預言されていた「背教」がすでに起こったということを理解するのは，現代のわたしたちにとってなぜ大切なのでしょうか。

セグメント3（6分）

大背教は人々が福音の真理から遠ざかったときに起こり，主は神権の権能と鍵を地上から取り去られたという真理を生徒がよりよく理解するのを助けるために，一人の生徒に，十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン会長の以下の言葉を声に出して読んでもらいます。



「〔教会の〕本当の名前は末日聖徒イエス・キリスト教会です。本来のイエス・キリスト教会が再び設立されたものです。主はこの地上におられたとき，御自身の教会を組織されました。使徒たちや七十人，その他の指導者たちを召され，主の御名によって行動するために神権の権能をお与えになりました〔マタイ10：1；ルカ6：13；10：1；エペソ4：11－12参照〕。キリストと使徒たちの死後，人々は儀式と教義を変えました。そして本来の教会と神権は失われました。暗黒の時代の後，天の御父の指示の下にイエス・キリストは御自身の教会を元に戻されました。回復された生ける教会は今，主の神聖な指示の下に機能を果たしています〔教義と聖約1：30参照〕」（「宣教師に尋ねてください。皆さんを助けることができます。」『リアホナ』2012年11月号，18）

- ネルソン会長によれば，なぜ回復が必要だったのでしょうか。
- 大背教について知ることは，末日聖徒イエス・キリスト教会の大切さを理解する上でどのように役立ちますか。

セグメント4（8分）

『マスター教義に関する基本文書』の教義テーマ4「回復」の最初の3つの段落を何人かの生徒に順番に読んでもらいます。他の生徒たちには，聞きながら，末日に福音の回復をもたらした出来事を見つけてもらいます。生徒に，見つけた幾つかの重要な出来事を挙げてもらいます。

第1段落にある次の教義に目を向けさせてください。「**古代の預言者は，末日に福音が回復されることを預言しました。**」生徒に，この真理を，その根拠となっているマスター教義聖句，使徒行伝3：19－21の近くに書くように勧めます。

- なぜ主は古代の預言者に，末日に回復が起こることを啓示され，そのことについて預言するように命じられたのでしょうか。

セグメント5（12分）

生徒に使徒行伝3：19－21を，マスター教義聖句と分かるように印を付けてもらいます。使徒ペテロと使徒ヨハネが，エルサレムの神殿の近くで足の不自由な男を癒したことを説明します。奇跡の噂はすぐに広まり，以前にイエス・キリストを拒んだ人を含め，多くの人が集まりました。一人の生徒に，聖句を声に出して読んでもらいます。他の生徒たちには，聞きながら，使徒ペテロが集まった人々に何を行うように指示したかを見つけてもらいます。

- ペテロは，人々にどのようなメッセージを伝えましたか。

20節にある「主のみ前から慰めの時がきて，あなたがたのためにあらかじめ定めてあったキリストなるイエスを，神がつかわして下さる」という言葉が，イ

エス・キリストが再臨し，「地球〔が〕更新されて楽園の栄光を受ける」（信仰箇条1：10）時を指していることを指摘するとよいでしょう。

使徒3：21で，ペテロはイエス・キリストが「万物更新の時まで」天にとどまっておられると預言したことを説明します。「万物更新の時」という言葉は，末日における福音の回復を指しています。

- 21節によると，ペテロの他に末日における福音の回復が起こることを預言したのは誰でしょうか。
- ペテロの預言はいつ成就し始めたでしょうか。（聖なる森で，父なる神とイエス・キリストがジョセフ・スミスに御姿を現されたとき。）

様々な時代の主の預言者が，わたしたちが現在生きている時代のことを預言し，福音の回復と主の再臨を心待ちにしていたことについて，あなたの証を分かち合います。

実践練習（25分）

生徒が，「霊的な知識を得る」の次の3つの原則を応用する練習をし，「回復」のテーマを自分と関連付けて考えられるよう助けます。「信仰をもって行動する」「永遠の視点から概念や質問について調べる」「神が定められた情報源を通してさらに理解を深める」

以下の活動は，あなたのスケジュールや生徒の必要に応じて，一回のレッスンで行うか，または複数回のレッスンに分けて行うことができます。

生徒を二人一組に分け，それぞれの組に以下の指示を書いた紙を渡します。（神によって定められた情報源についての質問の答えを生徒が準備するのを助けるため，背教や回復についての他の聖句や情報を聖句ガイドから見つける方法を示すとよいでしょう。）またLDS.orgにアクセスして，これらのテーマについての教会指導者の話を検索する方法を示してもよいでしょう。）

次のシナリオを一緒に読み，それから各原則の後に書かれた質問について話し合います。話に登場する友人が，信仰をもって行動し，永遠の真理の観点から質問を眺め，神が定められた情報源を通してさらに理解を深める方法を理解できるよう助けるための準備をします。（後で他の二人組の生徒と，このシナリオでロールプレイする機会があります。）

末日聖徒イエス・キリスト教会の会員でない友人が何人かいます。ある日，あなたがジョセフ・スミスと福音の回復について説明していると，他の宗派の敬虔なクリスチャンである一人の友人がこう尋ねました。「キリスト教がすでに世の中にあって，多くの人が聖書を信じていたのに，どうして神はジョセフ・スミスに現れる必要があったのだろうか。」

神が定められた情報源を通してさらに理解を深める

- あなたの友人がこの疑問についてさらに理解を深めるために，これまで学んだ教義やマスター教義聖句を使ってどのように助けることができますか。
- より理解を深めるために，神が定められた情報源として，聖文の他にどのようなものを調べるよう友人に勧めますか。

永遠の視点から疑問について調べる

- あなたの友人が神とイエス・キリストに対して持っている信仰を考慮した上で，過去の他の時代に神の子供たちが真理から遠ざかったことについて友人が知っている事柄を踏まえながら，友人がその疑問について調べるのをどのようにして助けることができるでしょうか。（例えば，人々がどのようにしてノアやモーセなどの預言者の教えから遠ざかったかについて話すとよいでしょう。）
- その疑問の答えを見つけるうえで，友人が神について，また神が御自分の子供たちを教えたいと望んでおられることについて知っていることや信じていることを自分で考えるように，どのように友人に勧めることができるでしょうか。

信仰をもって行動する

- あなたの友人は，真理を知るために，神を信じる信仰をどのようにして働かせることができますか。
- 友人が信仰を強めることができるよう，あなたは何をするように勧めたり，励ましたりすることができますか。

十分な時間を取った後，それぞれの組がもう一つの組と作業できるように割り当てます。一つの組に，疑問を持った友達の役をしてもらい，もう一つの組に，3つの原則を使って話し合ったことに基づいて答えてもらいます。片方の組が答え終わったら，二つの組に役割を交代してもらいます。

何人かの生徒に，話し合いやロールプレイの中で学んだことや感じたことについて分かち合ってもらうとよいでしょう。預言者ジョセフ・スミスを通して末日に福音が回復されたことについて，何人かの生徒に証を述べる機会を与えるとよいでしょう。

マスター教義の復習

生徒がマスター教義聖句を覚え，応用することができるように，今後のレッスンの中でマスター教義聖句を復習してください。年度を通して，これらの聖句を復習する機会を見つけるようにしてください。以下のような活動を行うとよいでしょう。

白紙のカード，または小さな紙を生徒たちに配ります。生徒たちに，今年度になって学んだマスター教義聖句を幾つか選んで，それらの参照先を各カードに書いてもらいます。カードの反対側には，聖句を当てる助けとなるような鍵となる言葉や他のヒントを書くようにしてもらいます。（マスター教義聖句の鍵となる言葉は，マスター教義のしおりに書いてあります。）

クラスを2人または3人のグループに分けます。自分たちで作ったカードを使って，グループ内でお互いにクイズを出すように勧めます。カードの，聖句の参照先を書いた側を他の生徒に見せて，聖句を当ててもらうか，または鍵となる言葉を見せて，マスター教義聖句が書いてある書と章，そしてできれば節を当ててもらうとよいでしょう。

活動の最後に，マスター教義聖句の参照先と鍵となる言葉を正しく組み合わせるクイズを，口頭で，またはプリントを使って行うとよいでしょう。

預言者と啓示

注：次のマスター教義の活動は，数回のクラスを通じて行うことも，1回のクラスで行うこともできます。

教義を理解する（50分）

セグメント1（10分）

次の質問をホワイトボードに書きます。「わたしたちの教会を特別なものとしている要素にはどのようなものがあるでしょうか。」生徒たちに答えてもらいます。彼らが発表する中で挙げられた答えをホワイトボードに書きます。わたしたちの教会を他とは違ったものとしている要素の一つは，生ける預言者がいることと，啓示が現在も引き続き与えられていることを信じていることであると説明します。

新約聖書には，預言者と啓示というテーマについてもっとよく理解する助けとなるマスター教義聖句が3つあることを説明します。次の聖句の参照先をホワイトボードに書き，生徒がそれぞれの聖句を読み，それらがマスター教義聖句と分かるように独特な印を付けるか，書き留めてもらいます。ヨハネ15：16；エペソ2：19―20；エペソ4：11―14。

生徒たちに，『マスター教義に関する基本文書』の教義テーマ5，「預言者と啓示」を開いてもらいます。数人の生徒に，5つの段落を順番に声に出して読んでもらいます。他の生徒たちには，聞きながら，ホワイトボードにある3つの聖句が根拠となっている教義を説明する文を見つけてもらいます。

生徒が見つけたことを分かち合ってもらいます。生徒に，以下の教義についての文に印を付けるか，線を引いてもらうとよいでしょう。

- **預言者とは，神に代わって語るよう神から召されている人です。**
- **預言者はイエス・キリストについて証し，イエス・キリストの福音を教えます。神の御心と神の真の属性について知らせます。預言者は罪を非難し，その結果について警告し，わたしたちが偽りを避けることができるよう助けてくれます。**
- **主は，現世で教導の業を行われたときに，また再び現代においても，預言者と使徒という土台の上に主の教会を築かれました。**

セグメント2（5分）

次の教義をホワイトボードに書きます。「預言者とは，神に代わって語るよう神から召されている人です。」生徒たちに，ヨハネ15：16を黙読し，この教義について教えている言葉や言い回しを見つけてもらいます。

生徒が見つけたことを発表してもらいます。「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだのである」という文に印を付けるように勧めるとよいでしょう。

- この聖句は，ある人がどのようにして預言者になると教えていますか。
- 預言者が人によってではなく，神によって召されることを理解することはなぜ大切なのでしょうか。

「聖任する」という言葉は，神からの権能をもって按手により正式に任命をすることを意味すると説明します。

- ある人が神に代わって語るために，正しい方法で聖任されることはなぜ大切だと思いますか。

セグメント3（10分）

次の教義に関する文をホワイトボードに書いてください。「預言者はイエス・キリストについて証し，イエス・キリストの福音を教えます。**預言者は神の御心と神の真の属性について明らかにします。預言者は罪を非難し，その結果について警告し，わたしたちが偽りを避けることができるよう助けてくれます。**

一人の生徒に，エペソ4：11－14を声に出して読んでもらいます。他の生徒たちには，聞きながら，ホワイトボードにある教義に関する文の根拠となっている言葉や言い回しを見つけてもらいます。

見つけたことを発表するように生徒たちに言います。

12節には神が預言者をお召しになる3つの大切な理由について教えていることを指摘します。生徒たちにその3つの理由に印を付けるよう勧めるとよいでしょう。

クラスを3つのグループに分け，それぞれのグループに以下の質問を一つずつ割り当て，それについてグループ内で話し合ってもらいます。（ホワイトボードにある，エペソ4：11－14の教義に関する文を参考にするように勧めてしてください。わたしたちが大管長会と十二使徒定員会の会員を預言者として支持していることを思い出してもらいます。）

1. 預言者は聖徒たちが完全な者となるためにどのように助けを与えているでしょうか。
2. 預言者が行う「奉仕のわざ」（12節）にはどのような例がありますか。
3. 預言者はどのようにして教会員を教化し，また強めていますか。

生徒にエペソ4：13－14を読んでもらい，教会に生ける預言者がいることによる祝福を見つけてもらいます。

見つけたことを発表してもらいます。

- 預言者はわたしたち教会員が「信仰の一致」（13節）に達するのをどのように助けていますか。なぜそのことが重要なのでしょうか。
- 預言者はわたしたちが「様々な〔偽りの〕教の風に吹きまわされたり，もてあそばれたり」（14節）することのないよう，どのように助けていますか。
- 預言者がわたしたちを偽りの教えから守ってくれた例にはどのようなものがあるでしょうか。

生徒に，次の質問に対する答えを聖典学習帳またはノートに書いてもらうとよいでしょう。

- 預言者の最近の話や教え，証は，あなたがイエス・キリストとその福音に対する知識を深めたり，欺きを避けたりするのにどう役に立ちましたか。

十分な時間を取った後，分かち合ってもよいと感じる生徒に，書いたことをクラスで発表してもらいます。

セグメント4（10分）

ホワイトボードに，エペソ2：19―20で教えられている教義に関する以下の文を書きます。「主は，現世で教導の業を行われたときに，また再び現代においても，預言者と使徒という土台の上に主の教会を築かれました。」

パウロがこの手紙をエペソ人に書いたのは，一部の人々の信仰が弱まりつつあったその地の教会員を霊的に強め，守り，一致させたいと望んでいたからだということを説明します。

一人の生徒に，エペソ2：19―20を声に出して読んでもらいます。他の生徒たちには，聞きながら，ホワイトボードにある教義に関する文の根拠となっている語句を見つけてもらいます。

見つけたことを生徒に発表してもらいます。

- キリストが御自分の教会を預言者と使徒という土台の上に組織されたことを知ることによって，エペソの聖徒たちはどのように強められたと思いますか。
- 末日聖徒イエス・キリスト教会が，同様に預言者と使徒という土台の上に組織されていることはなぜ重要だと思いますか。

生徒を二人一組または小さなグループに分け，次の質問について話し合うように言います。

- 多くの人は，組織された宗教は必要ではなく，むしろ人が作り上げたものだと信じています。末日聖徒イエス・キリスト教会に加わり，参加することの大切さを誰かが理解するのを助けるには，エペソ2：19―20に書かれている真理をどのように使えばよいでしょうか。

十分な時間を取った後で，生徒たちが話し合ったことをクラスに発表してもらいます。

一人の生徒に，十二使徒定員会のD・トッド・クリストファーソン長老の次の言葉を声に出して読んでもらいます。他の生徒たちには，D・トッド・クリストファーソン長老が教会の目的について何と述べているかを見つけてもらいます。（この言葉をコピーして生徒全員に配付するとよいでしょう。）

「世の中には，自らを宗教的，あるいは，霊的な人間であると思いながらも，教会に行くことを拒んだり，そのような組織の必要性を拒む人がいることを知っています。彼らにとって，宗教的な習慣はまったく個人的なものです。しかし，教会はわたしたちの霊性の中心に位置する御方であるイエス・キリストが作られたものなのです。……

その後，時の中間になると，イエスは多くの国のさまざまな国民の中に同時に福音を確立できるような方法で御自身の業を組織されました。その組織，すなわちイエス·キリストの教会は，『使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられたものであって，キリスト・イエス御自身が隅のかしら石で』〔エペ

ソ2：20〕した。その教会には，使徒に加えて，七十人，長老，ビショップ，祭司，教師，執事などの職も含まれていました。。……

御自身が地上におられたときに組織された教会の背教と分裂の後，主は預言者ジョセフ・スミスを通して，イエス・キリストの教会を再び組織されました。イエス･キリストの福音という良い知らせを教え，救いの儀式を執り行うといういにしえの目的，すなわち，人々をキリストのもとへ連れて来るという目的はそのままです。」（「なぜ教会が」『リアホナ』2015年11月，108参照）

- クリストファーソン長老によると，古代と現在における教会の目的は何ですか。

セグメント5（10分）

エペソ2：19－20と次の教義を生徒たちと復習します。「主は，現世で教導の業を行われたときに，また再び現代においても，預言者と使徒という土台の上に主の教会を築かれました。」

20節に出てくる「隅のかしら石」という言葉に目を向けさせてください。イエス・キリストは隅のかしら石として，預言者と使徒を通して御自分の教会を導き，管理し続けておられることを説明します。主は全ての神の子供のための律法を明らかにし，これらの聖任された僕を通して御自分の教会を導いておられます。神の律法には，預言者を通して神が明らかにされる教義や原則，戒め，儀式，聖約，また教会の方針や慣例などが含まれます。

ホワイトボードに次のように書いてください。

1. **永遠の律法**
2. **神権による管理と教会の運営に関する律法**

救いの計画に関する律法など，主が明らかにされる幾つかの律法は永遠のものであることを説明します。これらの律法は変わりません。しかし，社会の変化や教会あるいは世の中の必要に応じて，時に主は永遠の律法の中の特定のものを強調されることがあります。ホワイトボードの「永遠の律法」の横に「**は変わらない**」と書き加えてください。

また，教会の律法の中には，主が預言者を通して変更するよう指示されるものもあることを伝えます。このような律法としては，福音における神権による管理や儀式についての指示に関する律法や，主の教会とその会員の組織と管理に関する律法などがあります。これらの律法の一部は，教会の方針や慣例と呼ばれることもあります。預言者と使徒が共に主の霊感と助言を求めるとき，主の御心に従ってこれらの律法に修正を加えることがあります。このような変更によって，教会は秩序を保ちつつ世界中に拡大することができ，また世の中の様々な状況や必要に対処することが可能となります。ホワイトボードの「神権による管理と教会の運営に関する律法」の横に「**は変わることがある**」と書き加えてください。

生徒たちが永遠の律法と，神権による管理と教会の運営に関する律法の違いをよりよく理解できるよう，以下の例を声に出して読み，それらがどちらを説明しているかを考えてもらいます。

1. 1970年代まで，七十人定員会は教会の各地のステークで組織され，七十人の職に聖任された男性がそれぞれの地元で働いていました。1970年代中頃に，スペンサー・W・キンボール大管長は七十人第一定員会を中央幹部の定員会として再組織し，拡大しました。（神権による管理と教会の運営に関する律法。）
2. 信仰と悔い改めはわたしたちが成長し，天の御父のようになるために不可欠です。（永遠の律法。）
3. 1990年に，教会は独身の専任宣教師の奉仕活動にかかわる月々の負担金を，任地によらず一定の額としました。それ以前，宣教師は自分が割り当てられた世界の中の特定地域での生活費に応じて，異なる金額を払っていました。（神権による管理と教会の運営に関する律法。）

次に，生徒を少人数のグループ，あるいは二人一組に分け，生徒一人一人に次のワークシートを渡します。生徒たちに，選択クイズの答えを一緒に埋めてもらいます。

各文章が，（A）永遠の律法（変わらないもの），あるいは（B）神権による管理と教会の運営に関する律法（変わることがあるもの）のどちらの例であるか選んでください。

______1. 責任を持つことのできる全ての人にとって，水に沈めるバプテスマと確認は神の王国に入るために必要である。

______2. モーセの律法の下では，レビ族の男性のみがアロン神権に聖任された。

______3. 1896年以前は，毎月の断食と証会は日曜日ではなく，木曜日に行われていた。

______4. 1800年代中頃から1978年まで，黒人のアフリカ人は神権に聖任されなかった。

______5. 大管長会と十二使徒定員会は，1995年に「家族—世界への宣言」を発表し，結婚と家族に関する真理を改めて強調した。

______6. 2012年に，トーマス・S・モンソン大管長は専任宣教師の最低年齢を男性の場合18歳，女性の場合19歳とすることを発表した。

______7. 2015年に，大管長会と十二使徒定員会は安息日を遵守することをより優先するよう教会員に勧告を与えた。

クラス全体でワークシートの答え合わせを行い，生徒の質問に答えたり，より詳しく説明したりします。その後，生徒たちにこの2種類の律法の例として他に考えられるものを発表してもらいます。（答えは，この学習経験の最後にあります。）

- 変わることのない永遠の律法と，変わることのある，神権による管理と教会の運営に関する律法の違いを理解することは，主の御心を告げ知らすこ

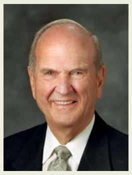
とのできる預言者の必要性を理解するうえでどのように役立つでしょうか。

セグメント6（5分）

エペソ2：19－20と次の教義を生徒たちと復習します。「主は，現世で教導の業を行われたときに，また再び現代においても，預言者と使徒という土台の上に主の教会を築かれました。」

生徒たちに，前のセグメントで取り上げられた以下の事柄について思い出してもらいます。「永遠の律法（変わることがない）」「神権による管理と教会の運営に関する律法（主の預言者がともに協議し，主から導きを受けることによって変えることがある）」

一人の生徒に，十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン会長の次の言葉を読んでもらいます。他の生徒には，預言者が具体的にどのようにして主から導きと啓示を求めているかについて注目しながら聞いてもらいます。



「わたしたちは，預言者，聖見者，啓示者として聖任された15人の男性を支持しています。問題が日々複雑化する中，厄介な問題が生じると，この15人はその問題と格闘し，様々な解決策が及ぼすあらゆる影響について検討し，耳を澄まして主の声を聞こうと努めます。断食と祈り，研究，熟考，重大な事項に関する幹部との協議の末，夜中に目が覚めて懸案事項についてさらに印象を受けることも珍しくありません。他の幹部も同様の経験をしています。

大管長会と十二使徒定員会は協議し，主の導きにより個人または全体について理解し，感じた事柄を全て伝え合います。すると主は，主の御心を宣言するよう大管長会を促されます。

この預言のプロセスは，2012年に宣教師の最低年齢が変更されたときや，さらには最近幾つかの国で同性婚が合法化されたのに伴って教会手引きに変更が加えられた際に，実現しました。あらゆる人，特に子供たちに対する思いやりに満たされて，わたしたちはこの件について主の御心を知ることができるようじっくりと取り組みました。神の救いの計画と，神がその子供たち一人一人に永遠の命を受けてほしいと望んでおられることを常に念頭に置きながら，起こり得るさまざまな筋書きを，順序や組み合わせを入れ替えながら検討しました。何度も神殿に集まり，断食し，祈り，さらに導きと霊感を求めました。その後，主が主の心と思いを宣言するよう預言者トーマス・S・モンソン大管長に霊感を与えられ，わたしたち一人一人がその神聖な瞬間に霊的な確認を受けたと感じました。使徒として，モンソン大管長が受けた啓示を支持できることは特権でした。主から主の僕への啓示は神聖なプロセスです。個人の啓示を受けられる皆さんの特権もまた同様です。」（「本物のミレニアル世代になる」〔ヤングアダルトのためのワールドワイド・ディボーショナル，2016年1月16日〕，broadcasts.lds.org）

- 預言者と使徒が教会を導くための啓示を受けるために行うプロセスについて，どのようなことをを学びましたか。
- 預言者がどのようにして啓示を受ける備えをするかについての知識は，わたしたちが教会の教えや慣例について疑問を持ったときにどのように役立つでしょうか。（わたしたちは，預言者が主の御心を注意深く求め，それ

を与えられてきたということを知ることができ，また，確認の啓示を受けるために自分の心を備える際に預言者の模範に従うことができます。）

生徒たちに，預言者が神の言葉を語り，教会を導くために神から召されていると知るうえで助けとなった経験について考えてもらいます。何人かの生徒に経験を分かち合ってもらいます。（あなたの経験を話すか，証をしてもよいでしょう。）

実践練習（45－60分）

生徒たちが，「霊的な知識を得る」の次の3つの原則を応用する練習をし，「預言者と啓示」の教義テーマを自分と関連付けて考えられるよう助けます。「信仰をもって行動する」「永遠の視点から概念や質問について調べる」「神が定められた情報源を通してさらに理解を深める」

このセクションにある練習は，あなたのスケジュールや生徒たちの必要に応じて，一度に，あるいは何回かに分けて行うことができます。

練習1（20－25分）

ホワイトボードに次の3つの原則を書きます。

- **信仰をもって行動する。**
- **永遠の視点から概念や疑問について調べる。**
- **神が定められた情報源を通してさらに理解を深める。**

生徒一人一人に『若人の強さのために』〔小冊子，2011年〕を配って全体に目を通してもらい，生ける預言者が避けるように勧告している様々な行動を見つけてもらいます。

生徒たちに見つけたことを発表してもらい，そのうちの幾つかをホワイトボードに書きます。

「モルモンの人が……しないのはすごくおかしいと思う」と言う，違う宗教の友人がいると想像してもらい，ホワイトボードに挙げられているものを使って文を完成してもらいます。

生徒に，ホワイトボードにある3つの原則を使って，どのように友人の疑問に自信をもって答えられるかを考えてもらいます。後でこのことについてロールプレイをする機会があることを説明します。生徒が考えを整理しやすいように，以下の質問を使うとよいでしょう。（質問をプリントにして生徒に配ってもよいでしょう。）

信仰をもって行動する。

- 預言者の教えに忠実に従うことは，あなたの友人の疑問に答えるのにどう役立つでしょうか。

- あなたの友人の疑問を踏まえて，どのようにして友人に信仰をもって行動するよう勧めることができるでしょうか。

永遠の視点から概念や疑問について調べる。

- 天の御父の救いの計画における預言者の役割についてどんなことを知っていますか。
- 友人は預言者について，どんなことを誤解したり思い違いをしたりするでしょうか。
- 預言者はこれまでに，あなたをどのように強め，またイエス・キリストと天の御父についてさらに学ぶのをどのように助けましたか。

神が定められた情報源を通してさらに理解を深める

- 友人の疑問の中にあったような行動を避けるように，預言者が勧告している理由をよりよく理解するためには，どのような資料を使うことができるでしょうか。（生徒たちが預言者の勧告や教えについてさらに理解し，説明することができるよう，末日の預言者による教え〔例えば『若人の強さのために』の中の教え〕や話，証を調べる時間を取ってもよいでしょう。）

十分な時間を取った後，生徒たちを二人一組に分け，上のような状況において友人にどう答えるかを順番に分かち合ってもらいます。全員が答え終わったら，最後に，数人の生徒に末日の預言者についての証を分かち合うよう勧めるとよいでしょう。

練習2（10－15分）

ホワイトボードに次の3つの原則を書きます。

- **信仰をもって行動する。**
- **永遠の視点から概念や疑問について調べる。**
- **神が定められた情報源を通してさらに理解を深める。**

次の状況を生徒に読んで聞かせます。

あなたの定員会またはクラスに，ミューチャルや日曜日の集会を休み始めた友人がいます。あなたはそのことについて，その友人と話そうと決めました。すると友人はこう言いました。「どうして特定の教会に行かないといけないか分からなくなってきてるんだ。この教会だけじゃなくて他の教会にすら行っていなくても世の中には良い人はたくさんいる。良い人生を送って，他人に親切にしていれば，それでも天国に行けるんじゃないかな。」

- 預言者と啓示に関する教義のどのような点を使えば，友人が教会に忠実に出席する大切さを理解するのを助けることができますか。
- 友人が教会の集会に出席する大切さをさらによく理解できるよう信仰をもって行動し，永遠の視点から概念や質問について調べ，神が定められた情

報源を通してさらに理解を深めるのを助けるために，あなたは何を行うことができますか。

練習3（15−20分）

注：この実践練習は，生徒たちがこの学習経験の「教義を理解する」のセクションのセグメント5とセグメント6で学んだ教義を理解するのを助けることを目的としています。

「霊的な知識を得る」の原則，すなわち，「信仰をもって行動する」「永遠の視点から概念や疑問について調べる」「神が定められた情報源を通してさらに理解を深める」ということについて生徒に思い出してもらいます。（これらの原則をホワイトボードに書くとよいでしょう。）

次のシナリオを読みます。

家族との夕食の席であなたの叔父が意見を述べ，社会的圧力が十分に強ければ社会問題に対する現在の教会の立場は，将来，より社会の立場に沿ったものに変わるだろうと言いました。この主張を裏付けるためにあなたの叔父は，教会が多妻結婚の実施に関する立場を変更したり，黒人のアフリカ人の会員が神権を持ち，神殿の儀式を受けるのを許可するようになったことを取り上げました。家族の他の人たちはこのことについて異なる意見を述べました。その話し合いの後，あなたは叔父が正しいのかどうかについて考え，次の質問について思いを巡らせました。「**教会が方針を変更するときに，社会の圧力に屈しているように思えることがあるのはなぜだろうか。**」（この質問をホワイトボードに書きます。）

生徒たちが「霊的な知識を得る」の原則と，エペソ2：19−20で教えられている教義を応用する練習をするのを助けるため，以下のプリントのコピーを生徒一人一人に配り，質問に対する答えを書いてもらいます。

信仰をもって行動する：

- 預言者と，預言者が啓示を求める方法について，どのようなことをすでに知っていますか。
- 主は預言者への啓示を通して御自分の教会を導いておられます。これまで，そのことを確信させる，どのような経験をしましたか。

永遠の視点から概念や疑問について調べる：

- ホワイトボードにある質問をイエス・キリストの福音と救いの計画という観点から眺められるようにするには，それをどのように言い換えればよいでしょうか。
- イエス・キリストが預言者を通して教会の方針や慣例を変更する目的としてはどのようなものがあるでしょうか。

神が定められた情報源を通してさらに理解を深める：

- 多妻結婚の実施や，黒人のアフリカ人の会員に対する神権への聖任や神殿儀式の制限がどのように変更されたかついての情報を見つけるためには，神が定められたどのような情報源を調べればよいでしょうか。

生徒たちが神が定められた情報源を見つけるうえで助けを必要としているならば，以下の情報源を紹介してもよいでしょう。

- 公式の宣言一（2013年版の聖典の序文を含む）
- 「声明」と多妻結婚の終決（LDS.org）
- 公式の宣言二（2013年版の聖典の序文を含む）
- “Race and the Church: All Are Alike unto God（人種と教会：全ての人は神にとって等しい）” (mormonnewsroom.org)
- 「人種と神権」（topics.lds.org）
- “Elder Dallin H. Oaks’ Reaction to Priesthood Revelation（ダリン・H・オークス長老の神権の啓示に対する応答）” (mormonnewsroom.org)

数人の生徒に，書いたことをクラスで発表してもらいます。時間があれば，生徒を二人一組に分け，この話題が再び取り上げられたとき，それにどう対応するかをロールプレイしてもらってもよいでしょう。

マスター教義の復習

数分間の時間を取って，生徒たちが今年度学んだマスター教義聖句を復習してもらいます。一人の生徒に，聖典を持って前に来てもらいます。その生徒に，他の人に見せないようにマスター教義聖句を一つ開いてもらいます。ホワイトボードにマスター教義聖句から一つの言葉を書いてもらいます。（「また」や「その」のようなあまり特徴のない言葉ではなく，その聖句の鍵となる言葉を選ぶようにしてもらいます。）

他の生徒たちには，その言葉が含まれるマスター教義聖句を探してもらいます。誰もその言葉のある正しい聖句を見つけられない場合，同じ聖句から別の言葉をホワイトボードに書いてもらいます。少なくとも一人の生徒が聖句の場所を正しく特定できるまでこれを繰り返してください。クラスの残りの生徒たちには，この聖句を開いてもらい，一緒に暗唱してもらいます。他の生徒一人に出て来てもらい，別のマスター教義聖句でこの活動を繰り返します。

プリントのクイズの答え：（1）A；（2）B；（3）B；（4）B；（5）A；（6）B；（7）A

神権と神権の鍵

注：次のマスター教義の活動は，数回のクラスを通じて行うことも，1回のクラスで行うこともできます。

教義を理解する（20分）

セグメント1（7分）

鍵を見せるか，鍵の絵をホワイトボードに描いて，それが何のために使われるのか生徒たちに尋ねます。主は鍵のたとえを用いて，御自身の神権や地上における御業をどのように進め，管理なさっておられるのかをわたしたちが理解できるように，助けてくださっていることを説明してください。

何人かの生徒に，『**マスター教義に関する基本文書**』にある教義テーマ6「神権と神権の鍵」を順番に声に出して読んでもらいます。他の生徒たちには，目で追って神権の鍵が何であるか，そしてそれが神権の力とどう関係するのかを理解する助けとなる教義に線を引くように言います。

- 神権はどのように定義されていますか。
- 神権の鍵が何であるのかを明確にしているどんな教義を見つけましたか。（生徒たちは読んだ箇所にある幾つかの教義について話し合いたいと感じるかもしれません。生徒たちが答えてから，第3段落にある次の教義に印を付けるように勧めます。―**神権の鍵は管理する権利，つまり地上における神の王国を管理し指示を与えるために神が人に授けられる力なのです。**）

生徒たちがこの教義をもっと理解できるように，次の質問について話し合うときにこの教義テーマの中で印を付けたところを使うように勧めてください。

- 神権の鍵と儀式の間にはどのようなつながりがあるでしょうか。
- 適切な神権の鍵を持つ者による承認が必要となる神権の儀式にはどのようなものがあるでしょうか。

救いの儀式（バプテスマおよび確認，メルキゼデク神権への聖任〔男性の場合〕，神殿のエンダウメント，そして神殿の結び固めの儀式など）のためには，適切な神権の鍵を持つ神権指導者またはその指示のもとで働く者の承認が必要になることを，生徒たちが理解できるように助けてください（『**マスター教義に関する基本文書**』にある教義テーマ7「儀式と聖約」も参照）。命名の儀式や墓の奉献，祝福師の祝福，聖餐の準備と祝福およびパスのためにも承認が必要となります。しかし，メルキゼデク神権者は油の聖別，癒しの祝福，父親の祝福，その他の慰めや助言を与える祝福を神権指導者の承認を得ることなく行うことができます。

- 男性と女性の両方にとって，教会の召しと神権の鍵の役割はどのように関連しているでしょうか。

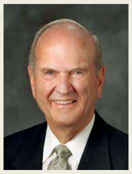
セグメント2（7分）

以下の教義を生徒たちと復習します。「神権の鍵は長の職に伴う権利，もしくは神が地上における神の王国を統治し導くために人に与えられる力である。」

生徒たちがこの真理をより深く理解できるように，運転するのに鍵が必要なのに，鍵の付いていない車をもらうという状況を想像するように言います。

- 車に乗ることができる状態であっても，どうして鍵が必要なのでしょうか。（車に乗ることはできても，車が機能するようにエンジンをかけるためには，鍵が必要となります。）
- このたとえは，地上における神権と神の王国の業を管理するために神権の鍵が必要となることと，どう関連しているでしょうか。

十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン会長による神権の鍵についての次の説明を画面に表示するか，コピーを配付してください。一人の生徒に，ネルソン会長の説明を声に出して読んでもらいます。他の生徒には，聞きながら，ネルソン会長が神権の鍵をどのように説明しているかを見つけてもらいます。



「鍵は大切なものであり，価値あるものです。ほとんどの人はどこへ行くにもポケットや財布に鍵を入れて持ち歩きます。けれども，大切で，価値があるばかりでなく，貴く，力があり，目には見えない鍵もあります。その鍵は永遠にわたって重要です。それが神権の鍵です。…

神権とは，人の救いの業に従事するために男性に委任される神の権能です。『これらの働きを指示する力が神権の鍵です。』〔ジョセフ・F・スミス『歴代大管長の教え—ジョセフ・F・スミス』（1998年），140〕わたしたちは神権を持つことと神権の鍵を持つこととをはっきりと区別しています。人が鍵を与えられるとき，さらなる神権を授けられるわけではありません。神権の業を指示する権利を受けるのです。」（「神権の鍵」『リアホナ』2005年10月号，26）

- 神権の鍵についてもっとよく理解するうえで，ネルソン会長の説明から何を学びましたか。

生徒たちに，『**マスター教義に関する基本文書**』にある教義テーマ6「神権と神権の鍵」の4段落目を黙読するように勧めます。神権の鍵を持っている人の例を幾つか探すように言います。生徒に見つけたことを分かち合ってもらいます。

- 誰かが神権の鍵を使ったことによって自分の人生が祝福されたのはいつでしょうか。

セグメント3（6分）

ホワイトボードに**マタイ16：15－19**と書いて，この聖句が神権の鍵について教えているマスター教義聖句であることを説明します。生徒たちに，これがマスター教義聖句であると分かるように，マスター教義聖句用の特別な印を付けるように勧めます。聖典の余白に，神権の鍵についてこの聖句から学んだ教義を覚えるのを助けるために，鍵となる言葉を書き込むように勧めてもいいでしょう。

救い主がかつて，弟子たちに御自身を何者だと思っているのかお尋ねになったことを説明します。その答えとして，ペテロはイエスが神の御子であると知っていると証しました。イエスはそのときに，ペテロに主の王国の鍵を授けると

宣言されました。数人の生徒に，マタイ16：15－19を順番に声に出して読んでもらいます。他の生徒には，目で追って，イエスが神権の鍵についてペテロに言われたことを見つけてもらいます。

- 19節によると，王国の鍵，つまり神権の鍵を受けた後，ペテロはどのような力を持つと救い主は言われましたか。（地上と天でつないだり解いたりする力。これは，神殿で家族をつなぐこと，つまり結び固めを含むこれらの神権の鍵によって執行された儀式などの行為が，この世から永遠にわたって有効であることを意味しています。）
- このマスター教義聖句の言葉を使って，今日において神の御業を指示するために預言者や使徒たちが持っている権能の大切さを他の人が理解するのを，どのように助けることができるでしょうか。

注：生徒たちがマスター教義聖句を覚えて，使うことができるように，後日，復習する必要があるでしょう。一年間を通して，このマスター教義聖句や他のマスター教義聖句を復習する機会を常に探すようにします。

実践練習（25－30分）

生徒たちが，『**マスター教義に関する基本文書**』にある教義テーマ6「神権と神権の鍵」に関して，霊的な知識を得るための3つの原則を応用することができるように彼らを助けてください。実践練習を始める前に，これらの原則をホワイトボードに書くとよいでしょう。

- **信仰をもって行動する**
- **永遠の視点から概念や疑問について調べる**
- **神が定められた情報源を通してさらに理解を深める**

クラスを3つのグループに分けて，各グループの番号に対応するプリントをそれぞれ渡します。各グループに8－10分ほどの時間を与えて，そのプリントにあるシナリオと質問について話し合ってもらいます。グループでの話し合いの後，一人ずつ，他の二つのグループの生徒と一緒になって，それらの質問に答える練習をすることを説明してください。

グループ1

次のシナリオをグループで読みます。：

あなたは宣教師として働いていて，同僚と二人で求道者にバプテスマの大切さについて教えています。求道者にバプテスマの勧めをすると，彼女は「自分の教会ですでにバプテスマを受けたのに，どうしてもう一度受ける必要があるの？」と尋ねてきました。

以下に挙げられた原則や質問を使って，求道者をどのように助けられるか，話し合ってください。

信仰をもって行動する：

- 求道者が神権の鍵を持つ者の指示のもとで，神権の権能によってバプテスマを受ける必要があるということを理解できるように努める際に，信仰をもって行動するためには，彼女は何ができるでしょうか。

永遠の視点から概念や疑問について調べる：

- 神権と神権の鍵についての理解は，その求道者の質問に新たな視点から答えるためにどのような助けとなるでしょうか。

神が定められた情報源を通してさらに理解を深める：

- マタイ16：15－19で教えられている教義は，求道者が自分の質問に対する答えを見つけるのに，どのように役立つでしょうか。
- 求道者が，適切な権能によってバプテスマを受ける必要があることを理解するのを助ける他の聖句があるでしょうか。

グループ2

次のシナリオをグループで読みます。：

ある友人から，純潔の律法に関わる深刻な罪を犯してしまい，悔い改めようとしていると打ち明けられました。あなたは聖典学習を通して，教会の各ワードや支部においては，ビショップや支部会長が「悔い改めの福音」の鍵を含むアロン神権の鍵（教義と聖約13：1）を持っていることを学びました。

友人にビショップと面接するように励ましましたが，彼は次のように言っています。「ビショップと会う必要があるのか分からないんだ。自分が行ったことを告白する必要があるのは分かっているけど，もう主に告白したんだ。赦しを求めてお祈りして，自分の振る舞いも変わったよ。聖餐も取っているし。主の赦しを受けるために，どうしてビショップに会いに行かなければいけないんだい？自分と主とのことなんじゃないの？」

以下に挙げられた原則や質問を使って，あなたの友人にどう答えるか，話し合ってください。

信仰をもって行動する：

- あなたの友人が救い主と，主が権能を与えられた僕が持つ神権の鍵に対する信仰を働かせ，強めるために，彼は何ができると思いますか。

永遠の視点から概念や疑問について調べる：

- ビショップが持つ神権の鍵についての理解は，どのように，あなたの友人の疑問に明確に答える助けとなるでしょうか。

神が定められた情報源を通してさらに理解を深める：

- マタイ16：19にある救い主の言葉は，ビショップの持つ神権の鍵が，あなたの友人が受けることのできる罪の赦しを含めた永遠の祝福に関係があることを，彼が理解できるように，どう助けとなるでしょうか。
- さらに深く理解するためには，あなたの友人は神が定められたどのような他の情報源を用いることができるでしょうか。

グループ3

次のシナリオをグループで読みます。：

親戚と一緒に過ごす一週間の余暇の間に，あなたの家族は日曜日に集う地元のワードか支部について話し合っています。アロン神権の祭司のいとこが言いました。「自分たちで聖餐会をするのはどうかな。自分は祭司だから，聖餐の祝福もパスもできるし，君や他の家族の誰かがお祈りやお話をすればいいんじゃないのかな。」

以下に挙げられた原則や質問を使って，あなたのいとこにの提案にどう答えるか，話し合ってください。

信仰をもって行動する：

- あなたの家族は，余暇の間に聖餐を取る計画を立てるときに，神権の鍵を持つ者が権能を行使して神権の業を指示することに対してどのように信仰を示すことができますか。

永遠の視点から概念や疑問について調べる：

- 神権の鍵についての教義を理解することは，神権者が聖餐式を執り行うなどの儀式をどのようなときに行うことができるかを明確にするうえで，どのような助けとなるでしょうか。

神が定められた情報源を通してさらに理解を深める：

- 神権者がどのようなときに神権の儀式を執行する権能を与えられるかについて，より理解を深めるために，神が定められたどのような情報源を用いることができるでしょうか。

生徒たちが，与えられたシナリオにある質問に関する神が定められた情報源を見つけることが難しい場合は，以下の資料を勧めるのもよいでしょう。

グループ1：教義と聖約22：2－4

グループ2：モーサヤ26：12－15，29－31，C・スコット・グロー長老「ビショップに告白する必要があるのはなぜでしょうか？何について告白する必要がありますか？」『リアホナ』2013年10月号，58－60

グループ3：『手引き第2部ー教会の管理運営』（2010年）20.1　LDS.org，ダリン・H・オークス「神権の鍵と権能」『リアホナ』2014年5月号，49－52

各グループが与えられたシナリオと質問に対する答えについて話し合った後，各グループから一人ずつ集めた3人組のグループに生徒たちを分けます。生徒たちに一人ずつ自分に与えられたシナリオを同じグループの生徒たちに読んで，その質問にどう答えるか，ロールプレイをするように勧めます。

十分な時間を取った後で，数人の生徒に神権の鍵を持つ者によって導かれることにより得られる祝福について，彼らの考えや証を分かち合ってもらいます。

マスター教義の復習

生徒たちがこのコースのこれまでのレッスンで学んできたマスター教義の場所を覚えられるように，紙に縦横4マスの表を書くように言います。表の行には上から番号をつけて，列には**A**，**B**，**C**，**D**と書き込むように言ってください。

	A	B	C	D
1				
2				
3				
4				

このコースでこれまでに学んだマスター教義聖句を生徒と復習してください。それから，それぞれのマスに16個のマスター教義聖句をランダムに書き込むように言います。（生徒たちが学んだ教義の数が16に満たない場合は，同じ聖句を2箇所書いてもいいでしょう。もし16個より多くの教義を学んでいたら，必要に応じて行や列を付け加えてください。）

マスター教義聖句の一部を読み，生徒たちにはそれがどの聖句か表のマスを指差すように言います。読み終えたら，それがどの聖句かを声に出して伝えて，生徒たちが答えを確認できるようにします。彼らが正しいマスを指差していたら，**X**を書き込んでいきます。

どの向きでも4マスが一列そろったら，その生徒は「マスター教義」と声を上げます。全ての生徒が一列そろうまで，または全てのマスが埋まるまで続けることができます。

儀式と聖約

注：次のマスター教義の活動は，数回のクラスを通じて行うことも，1回のクラスで行うこともできます。

教義を理解する（20分）

セグメント1（10分）

ホワイトボードに**儀式**と**聖約**と書きます。生徒たちに，これらの言葉にあまりなじみのない人に対して，それらをどのように定義できるか説明してもらいます。

何人かの生徒たちに，『**マスター教義に関する基本文書**』にある教義テーマ7「儀式と聖約」のすぐ下の段落を順番に読んでもらいます。他の生徒たちには，目で追って，儀式と聖約が何かをより理解する助けとなる言葉や言い回しに印を付けるように言います。

十分な時間を取った後，印を付けたところについて数人の生徒に発表してもらいます。次の質問をするとよいでしょう：

- 救いの儀式とは何でしょうか。
- あなたは福音におけるどの救いの儀式を受けたことがありますか。
- この教義テーマは，バプテスマが必要な理由について，何を教えていますか。（生徒たちに，自分の『**マスター教義に関する基本文書**』の以下の真理に印を付けるように勧めます。「**バプテスマは，人がイエス・キリストの教会の会員となり，また日の栄えの王国に入るために必要です。**」）
- イエス・キリスト教会の会員になるために，また日の栄えの王国に入るためになぜバプテスマが必要だと思いますか。

生徒たちに，自分がバプテスマを受けて，末日聖徒イエス・キリスト教会の会員に確認されたときのことを心の中で思い出すように言います。何人かの生徒に，彼らがどこで，誰によってバプテスマを受けたのか，またその時の経験についての印象や気持ちなどを分かち合ってもらいます。

セグメント2（10分）

生徒たちと，『**マスター教義に関する基本文書**』の「儀式と聖約」の教義テーマで教えられている以下の教義について復習してください。「バプテスマは，人がイエス・キリストの教会の会員となり，また日の栄えの王国に入るために必要です。」

- 新約聖書の中に，この教義を裏付ける聖句はありますか。

生徒たちにヨハネ3：5を開くように勧めます。このマスター教義を素早く見つけることができるように，マスター教義聖句用の特別な印を付けるように勧めるとよいでしょう。ヨハネ3章には，救い主が福音についてもっと知りたいと求めていたニコデモという名前のパリサイ人に対する教えが含まれていることを説明してください。

一人の生徒に，ヨハネ3：5を声に出して読んでもらいます。他の生徒には，聞きながら，神の王国に入るためには何が必要だと救い主が言われているかを見つけてもらいます。

- 神の王国に入るためには何が必要だと救い主は言われていますか。
- 「水から生まれる」とは，どんな救いの儀式のことでしょうか。
- 「霊から生まれる」とは，どんな救いの儀式のことでしょうか。
- あなたがバプテスマを受けたことは，日の栄えの王国に入り，再び天の御父と共に住むのにふさわしくなるように努める上で，どのような助けとなっているでしょうか。

実践練習（10分）

『**マスター教義に関する基本文書**』の「霊的な知識を得る」というセクションで挙げられている3つの原則について生徒たちに思い起こさせて，それをホワイトボードに書きます。

- **信仰をもって行動する**
- **永遠の視点から概念や疑問について調べる**
- **神が定められた情報源を通してさらに理解を深める**

生徒たちが「儀式と聖約」のテーマについての質問と結び付けながらこれらの原則を実践できるように，次のシナリオを声に出して読んでください。

あなたの友人の一人が，教会についてもっと学ぶことに興味を持っていて，宣教師からレッスンを受けています。モルモン書を部分的に読んでいて，教会の集会にも何度か出席し，回復された福音についても信じていると言っています。ある日，宣教師とのレッスンの後，帰り道でその友人が言いました。「宣教師から教えられたことを信じているけど，バプテスマを受けて特定の教会に入らなくても，良い人になって，良いクリスチャンでいればいいんじゃないかしら。」

- バプテスマの勧めについて考える際に，あなたの友人はどのように信仰をもって行動することができるでしょうか。
- 彼女がバプテスマに対する疑問について永遠の観点から考えることができるように，あなたはどう助けることができるでしょうか。彼女がバプテスマの儀式の重要性を永遠の観点から理解できるように，あなたは救いの計画とイエス・キリストの福音のどんな真理を彼女と分かち合いますか。
- あなたの友人が，神が定められた情報源を通してより理解を深めるために，どんな助けができますか。
- 友人を助けるために，ヨハネ3：5をどのように使えますか。

生徒たちに時間を与えて，聖句ガイド（https://www.lds.org/scriptures/gs?lang=jpn）で「バプテスマ」の項を調べて，友人の質問に答えるための助け

となる情報を調べるように言います。十分な時間を取った後，生徒たちに二人組またはグループになってもらい，見つけた事柄をお互いに話し合ってもらいます。それぞれのグループを回って，彼らの話し合いを聞いたり，必要であれば助けを与えるようにするとよいでしょう。

終わりに，儀式と聖約について，特に天の御父の計画におけるバプテスマの儀式の重要性についての証を何人かの生徒に分かち合ってもらってもよいでしょう。

マスター教義の復習

クイズを使ってマスター教義聖句の記憶をテストする機会を与えるのもよいでしょう。質問には，ヒントとして鍵となる言葉や参照聖句，聖句からの引用，またはその聖句で教えられた真理を描写するシナリオを伝えることができます。これらのクイズは，質問を声に出して読んだり，ホワイトボードや紙に書いたりして行うことができます。クイズを行った後，得点の高かった生徒と低かった生徒で二人組になるようにしてもよいでしょう。得点の高かった生徒が，低かった生徒に，マスター教義聖句を効果的に学んだり覚えたりする方法を教えるようにするとよいでしょう。これに取り組む際に，次回のテストで二人の合計点が今回の合計点を上回るという目標を立ててもよいでしょう。生徒たちの目標を掲示して，進歩状況を確認するために，表か掲示板を作ってもよいでしょう。

結婚と家族

注：次のマスター教義の活動は，数回のクラスを通じて行うことも，1回のクラスで行うこともできます。

教義を理解する（25－30分）

セグメント1（10分）

1コリント11：11とホワイトボードに書きます。これはマスター教義聖句であることを生徒たちに伝え，後で見つけやすくするために，自分の聖典を開いてこの箇所にマスター教義用の特別な印を付けるように言います。この聖句は結婚と家族の教義テーマについて理解するのを助けてくれる聖句であると説明します。

コリント（現在のギリシャ）の教会員たちへの手紙の中で，使徒パウロは結婚について教えていることを説明します。一人の生徒に，1コリント11：11を声に出して読んでもらいます。他の生徒たちには，目で追って，夫と妻の関係についてパウロが何を教えているか見つけるように言います。

「主にあって」という表現は，わたしたちが永遠の命を受けて，天の御父のようになるという天の御父の福音の計画においては，という意味だと説明してください。

- 男性と女性との間の結婚の重要性について，この聖句はどんなことを教えているでしょうか。

生徒たちに，『**マスター教義に関する基本文書**』の中の教義テーマ8「結婚と家族」を読んで，神の計画において男性と女性との間の結婚の必要性について理解する助けとなる文章を見つけるように言います。

見つけたことを分かち合うよう生徒に勧めます。それから，そのテーマにある以下の真理を強調します。「**日の栄えの結婚の聖約を交わし，忠実にその聖約を守ることによってのみ，男女はそれぞれが神から与えられた永遠の可能性を実現することができます。**」生徒に，各自の聖典の1コリント11：11の横にこの真理を書くように勧めるとよいでしょう。

セグメント2（5－10分）

ホワイトボードに次の教義を書きます。「**日の栄えの結婚の聖約を交わし，忠実にその聖約を守ることによってのみ，男女はそれぞれが神から与えられた永遠の可能性を実現することができます。**」生徒たちに，この教義を教えているマスター教義聖句を新約聖書の中から探すように言います。生徒たちが1コリント11：11を見つけたら，一人の生徒に声に出して読んでもらいます。

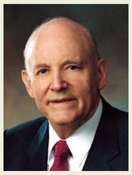
一人の生徒に教室の前に出て来てもらいます。その生徒に，両手を前に出すように言います。

- あなたの両手はどのような点で似ているでしょうか。
- 異なる点は何でしょうか。

その生徒に片手を後ろに隠すように言います。それから，クラスの生徒たちに次の質問をします。

- 片手だけで行うのが難しい活動にはどんなものがありますか。
- 両手があると，より力が出せるという例には，どんなものがありますか。
- 両手のたとえを，男性と女性との間の結婚に関する教義上の真理にどのように当てはめることができるでしょうか。

現世において日の栄えの結婚の聖約に入る機会がない人もいることを伝えてください。一人の生徒に，ハワード・W・ハンター大管長による次の言葉を声に出して読んでもらいます。



「永遠の結婚や永遠の家族をはじめとするすべての祝福は，ふさわしければだれにでも与えられ〔ます〕。ある人にとってはこの祝福を受けるのに長い時間がかかり，場合によっては来世まで待たなくてはならないこともありますが，祝福が拒まれることは決してないのです。」（「あらゆる人々のための教会」『聖徒の道』1990年8月号，43）

- 天の御父の計画において，全てのふさわしい個人が最終的に日の栄えの結婚の聖約に入り，永遠の家族を持つ機会があるということを理解するのは，なぜ大切なのでしょうか。

セグメント3（10分）

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老が述べた次の言葉を提示するか，コピーして生徒たちに渡します。一人の生徒に声に出して読んでもらいます。他の生徒たちには，目で追って，男性と女性との間の結婚について彼らが学んできた教義についての教えや考え方を見つけるように言います。

「地球が創造された後，アダムはエデンの園に置かれました。しかし，重要なことに，神は『人が独りでいるのは良くない』と言われました（モーセ3：18，。創世2：18も参照）。そしてエバがアダムの妻となり助け手となりました。幸福の計画を実行するには，男性と女性の霊と肉体，精神と情動の独特な結合が必要だったのです。…男性と女性は互いに学び，強め，祝福し，補うのです。」（「わたしたちは純潔を信じる」『リアホナ』2013年5月号，41）

- ベドナー長老の教えは1コリント11：11で教えられている真理とどのような関係がありましたか。

生徒たちに以下の質問から一つ選んで自分の学習帳に答えを書き込むように勧めます。

- 男性と女性が結婚や家族においてそれぞれの属性や責任をお互いに補い合うにはどのような方法があるでしょうか。

- 夫と妻が聖約によって結ばれた結婚を通して，より天の御父のようになるために身に付けるべき特質とは何でしょうか。

何人かの生徒に答えを発表してもらいます。

実践練習（45－55分）

次の活動は，生徒たちが年度の初めに行った霊的な知識を得るための学びの経験で学んだ原則を，実践する助けとなるものです。それらの原則を生徒たちに思い出させるために，ホワイトボードに書くとよいでしょう。

- **信仰をもって行動する**
- **永遠の視点から概念や疑問について調べる**
- **神が定められた情報源を通してさらに理解を深める**

これらの活動はスケジュールや生徒たちの必要に応じて，一日で行っても，数回に分けて行ってもよいでしょう。

練習1（20－25分）

注：必要であれば，生徒たちの人生経験に応じて次のシナリオを修正するようにしてください。

一人の生徒に，以下のシナリオを声に出して読んでもらいます。

伝道後，学業に励んでいる間に，イエス・キリストへの強い信仰を持っていて，あなたに敬意を払い，より良い自分になりたいと思わせてくれる人と出会い，デートをするようになりました。次第にお互いへの愛情が深まって，結婚について話し合うようになりました。しかし結婚について考えるにつれて，大学の勉強や仕事をして，自分のキャリアを築きながら家族を養っていく大変さやストレスを心配するようになりました。あなたはこのように感じています。「結婚や家族を持つのは，大学を卒業して，高収入の仕事を得て，十分なお金を貯めるまで待った方が楽で良いのではないか。」

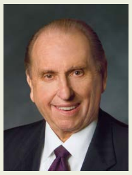
- このような状況において，なぜ結婚を先延ばしにしたり避けたりしたくなるのでしょうか。
- この質問について考え，将来の計画を立てる際に，信仰をもって行動するにはどうすればよいでしょうか。
- 神の導きを求めることは，教育やキャリア設計，結婚や家族について賢明な選択をするうえでどのような助けとなるでしょうか。

生徒たちに，救いの計画における結婚や家族の役割について自分が何を知っているか考えるように言います。

- 1コリント11：11から学んできた教義は，この状況にどう関係があるでしょうか。

- この問題を永遠の観点から見るために，悩んでいることを異なる表現で表してみたらどうなるでしょうか。（予想される例として以下のようなものがあるでしょう。：「結婚を先延ばしにしたら，失ってしまうものは何だろうか。」「結婚と家族を自分の人生の優先事項としたときに，今と永遠において得られる利点や祝福はなんだろうか。」）

クラスを3人から5人組のグループに分けて，5－10分ほど時間を取って，結婚や家族についての彼らの行動や決断をするうえで助けとなる知恵を与えてくれる聖句や，可能であれば最近の総大会の説教またはその他の教会の資料などを探すように言います。例として，一人の生徒に，トーマス・S・モンソン大管長の次の言葉を声に出して読んでもらうのもよいでしょう。



「妻や家族を経済的に養うことを心配しているのでしたら，質素な生活をする夫婦が恥じる必要はないことを約束します。たいていの場合，そのような困難な時期に犠牲を学び，難しい決断を下すことを学ぶ中で夫婦のきずなが深まるものです。」（「神権の力」『リアホナ』2011年5月号，67）

生徒たちに，どんな聖句やその他の資料から理解を深めることができたのか，クラスのみんなと分かち合うように勧めてください。

- 人生において，結婚と家族を優先することはなぜ大切なのでしょうか。
- 永遠の結婚と家族を築くために，今できる備えは何でしょうか。

練習2（25－30分）

次のシナリオを声に出して読みます。

ある夜，あなたは弟と話しているときに，彼から教会の同性婚についての教えを受け入れるのが難しいと打ち明けられました。彼は，「なぜ教会が同性婚が誤りであると教え続けているのか理解するのが難しいんだ。どうして同性婚を決意した人たちから幸せを奪うようなことをするのか分からない。」

生徒たちに，このような状況になったらどう対応するか，考えるように言います。

- あなたの弟の質問に答える際に，信仰をもって行動するためには何ができるでしょうか。
- 弟が信仰をもって行動することができるように，どのように彼を助けることができるでしょうか。
- 1コリント11：11の学習から，同性婚の問題を主の視点から理解する助けとなるどのような教義を学んだでしょうか。
- その他に，同性婚の問題を永遠の観点から見るための助けとなる教義に関する真理がありますか。

生徒たちがより深く理解するために，預言者の教えに目を向けることができるよう，この学習の終わりに，「なぜ結婚が不可欠なのか」のプリントを配ってください。これは十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー

長老の「結婚—神の永遠の計画に不可欠なもの」という説教からの引用です。生徒たちにこれを他の生徒たちと読んで，同性婚の問題について対応する助けとなる，結婚と家族についての真理を見つけるように勧めます。

- あなたの弟が，同性婚の問題を，救いの計画やイエス・キリストの福音という観点から見ることができるように助けるために，ベドナー長老の教えをどのように用いることができるでしょうか。

注：この資料に載っている説教の代わりに，他の説教や最新の教会指導者からの説教を使ってもよいでしょう。

マスター教義の復習

生徒たちが，今年学んだマスター教義聖句を覚え，またどのように見つければよいか分かるように，ヒントを使い，それらの聖句を聖典の中からすぐに見つける練習ができるようにするとよいでしょう。ヒントには，鍵となる言葉や内容をまとめた文章，教義や原則，また実践のためのアイデアなどが含まれます。

「聖句探し」の活動は，生徒たちがマスター教義の学習に積極的に参加する助けとなります。「聖句探し」の活動によって誰かが嫌な思いをしたり，御霊を退けることがあってはなりません。聖典を不敬に扱ったり，過度に競争的にならないよう生徒たちを助けてください。生徒同士の競争ではなく，一定の基準を設けて，それに対する競争としてもよいでしょう。例えば，生徒たちは教師と競争することができます。あるいは，指定した時間内にクラスの何パーセントが聖句を探せるかどうかを競争することにしてもよいでしょう。

「聖句探し」に参加する備えとして，活動をする前に，数分間時間を取って，生徒たちがマスター教義聖句の参照箇所や鍵となる言葉などを見直すことができるようにします。2人組でも，クラス全体でも聖句の復習ができます。

なぜ結婚が不可欠なのか

デビッド・A・ベドナー長老

十二使徒定員会

「結婚—神の永遠の計画に不可欠なもの」『リアホナ』2006年6月号，50－55からの引用

「家族—世界への宣言」の中で，大管長会と十二使徒評議会は，こう宣言しています。「男女の間の結婚は神によって定められたものであり，家族は神の子供たちの永遠の行く末に対する創造主の計画の中心を成すものである。」（「家族—世界への宣言」『リアホナ』2004年10月号，49）宣言の根幹となるこの一文には，教義面から見た結婚の重要性が教えられ，また，結婚生活と家族生活が御父の計画の中で最も大切なものであることが強調されています。義にかなった結婚生活は一つの戒めであり，墓を越えた後も続く愛に満ちた家族関係を築くために欠かせないステップです。

永遠の結婚が御父の計画の中でどうしても欠かせないのはなぜかを理解するのに役立つ，力強い教義的理由が二つあります。

理由1—男性の霊と女性の霊は，互いを完成し合う性質を持っている。だからこそ，男女は昇栄に向かって一緒に進歩するように意図されているのである。

結婚の永遠性や重要性を十分理解するには，御父が子供たちのために立てられた偉大な計画に照らし合わせて考える必要があります。「すべての人は，男性も女性も，神の形に創造されています。「人は皆，天の両親から愛されている霊の息子，娘で〔あり〕，神の属性と神聖な行く末とを受け継いでいます。」〔『家族—世界への宣言』〕この偉大な幸福の計画があることにより，御父の霊の息子娘は，肉体を得て地上での生活を経験し，完成に向かって進歩することができます。

「性別は，人の前世，現世および永遠の状態と目的にとって必須の特性なのです。」〔『家族—世界への宣言』〕つまり性別によって，自分が何者で，何のために地上にいて，将来何をし，何になるかがはっきり分かります。神の目的のため，男女は異なり，固有の特徴を備え，補い合っています。

地球が創造され、アダムがエデンの園に置かれました。重要なことに，神は「人がひとりでいるのは良くない」と言われ（創世2：18；モーセ3：18），エバがアダムの伴侶，協力者となりました。つまり，幸福の計画を推し進めるには，霊的，肉体的，精神的，感情的に男女が力を合わせて一つになることが必要だったのです。男性であれ女性であれ，単独で創造の目的を達成することはできませんでした。

神の計画により，男女は，完成と完全な栄光に向かって一緒に歩むよう意図されて造られました。男性と女性は，明らかに異なる気質と能力を備えているので，結婚生活の中に、それぞれ独特の見方や経験を持ち込みます。男女は，異なる方法で平等に貢献し合いながら一致します。ほかの方法では一致できません。互いに学び合い，強め合い，祝福し合ううちに，女性は男性に補われ，男性は女性に補われ，互いに完全な者となります。「**主にあっては**，男なしには女はないし，女なしには男はない』のです（1コリント11：11，強調付加）。

理由2—神の計画により，死すべきこの世に子供をもたらし，最良の環境の中で養い育てるには，男性と女性の両方が必要である。

かつてアダムとエバに与えられた，増えよ，地に満ちよとの戒めは，今もなお有効です。「生殖の神聖な力は，法律に基づいて結婚した夫婦である男女の間においてのみ用いるべき〔ものであると神は戒められています〕。この世に命をもたらす手段は，神によって定められたものです。」〔『家族—世界への宣言』〕つまり，男女間の結婚こそが，前世にいる霊をこの死すべき世にもたらすために神が承認された経路なのです。この神聖な経路を汚さずに守るには，結婚前の完全な純潔と，結婚後の完全な貞節が必要です。

夫と妻が互いに愛し合い誠実である家庭は，子供を育てる最高の環境となります。そのような家庭の子供は，愛と義をもって育てられ，霊的にも物質的にも満たされます。男女の異なった特徴が夫婦関係を完成させるのと同じように，男女それぞれの特徴は，子供を育て，養い，教えるうえでも欠かせません。「子供たちは結婚のきずなの中で生を受け，結婚の誓いを完全な誠意をもって尊ぶ父親と母親により育てられる権利を有しています。」〔『家族—世界への宣言』〕

戒め

注：次のマスター教義の活動は，数回のクラスを通じて行うことも，1回のクラスで行うこともできます。

教義を理解する（25分）

セグメント1（10分）

ホワイトボードに次の質問を書いてください。

- **神はなぜわたしたちに戒めをお与えになったのでしょうか。**
- **なぜ戒めに従う必要があるのでしょうか。**

生徒たちに，『**マスター教義に関する基本文書**』にある教義テーマ9「戒め」の最初の段落を黙読して，ホワイトボードにある質問の答えを探すように言います。

- 神はなぜわたしたちに戒めをお与えになったのでしょうか。（わたしたちが成長して，天の御父のようになるのを助けるため。戒めは，神がわたしたちに抱いておられる愛の現れです。）
- 神の戒めに従うことがわたしたちにとって大切なのはなぜでしょうか。（戒めに従うことによって，わたしたちは主への愛を示し，幸福と祝福を受けることができるから。）

生徒たちに，ヨハネ14：15を開いて，この聖句をマスター教義聖句として印を付けるように言います。主が十字架にかけられる前に執り行われた弟子たちとの最後の晩餐の後，イエスは弟子たちに戒めを守ることに対するわたしたちの態度について大切な教えを与えられたことを説明してください。生徒たちがこの聖句の場所と語句を覚えられるように，数分の時間を取ってから，次の質問をします。

- この聖句から，わたしたちが戒めを守るときに，救い主に対して何を示しているのでしょうか。（生徒たちが答えてから，次の真理をホワイトボードに書くとよいでしょう。「**わたしたちは主の戒めを守ることにより，救い主への愛を示す。**」）
- 戒めを守ることがなぜ，わたしたちの救い主への愛を示すことになるのでしょうか。

セグメント2（5分）

生徒たちに自分の聖典のヨハネ14：15の隣の余白に，参照聖句として「マタイ22：36－39」と書き込むように勧めます。それからマタイ22：36－39を開いて，この聖句をマスター教義聖句として印を付けるように言います。

この聖句の背景を理解できるように，生徒たちにマタイ22：34－36を黙読して，救い主がお尋ねになった質問を見つけるように言います。

- 律法学者は救い主にどのような質問をしましたか。

一人の生徒に，マタイ22：37―39を声に出して読んでもらいます。他の生徒には，聞きながら，救い主の答えを見つけてもらいます。

- 救い主が二つの最も大切な戒めだと宣言されたのは何でしたか。（生徒たちは次の教義に気がつくことでしょう。**最も大切な二つの戒めとは，心と精神と思いをつくして主なるあなたの神を愛すること，そして自分を愛するようにあなたの隣人を愛することである。**）

一人の生徒に，『**マスター教義に関する基本文書**』から教義テーマ9「戒め」のセクションの第2段落を読んでもらいます。他の生徒には，目で追って，神を愛することと隣人を愛することのつながりを見つけるように言います。

- 神を愛することと隣人を愛することとの間にはどのような関係があるでしょうか。
- これらの二つの戒めが最も大切な戒めとみなされているのは，なぜだと思いますか。

生徒たちに，彼らが神に対する愛と周りの人々に対する愛をどのように示しているのか，深く考えるように励ましてください。

セグメント3（5分）

生徒たちにイエス・キリストが教えられた二つの大切な戒めが何であるか，またこの真理について教えているマスター教義聖句がどこにあるか思い出すように言います。

生徒たちがマタイ22：36―39の聖句と，二つの大切な戒めが心と精神と思いを尽くし主なるを愛することと，自分を愛するように隣人を愛することだということをもっとよく理解できるように，マタイ22：40を読むように勧めます。他の生徒には，目で追って，イエス・キリストがこれらの二つの大切な戒めについて何と言われているか探してもらいます。

- これらの戒めについて，イエスは何と言われましたか。（律法全体と預言者—当時聖典として考えられていた二つの要素—の中で教えられている全ての律法が，これら二つの大切な戒めにかかっている。）

最後に，大管長会のディーター・F・ウークトドルフ管長が述べた次の言葉を示すか，コピーを配るのもよいでしょう。一人の生徒に，次の文を読んでもらいます。他の生徒たちには，目で追って，他の全ての戒めが，どのようにこの二つの大切な戒めにかかっているのかを探すように言います。

「他の全ての戒めは愛の原則に基づいていると言われた救い主の言葉は，何と明確でしょう。もしわたしたちが偉大な律法に従い，心を尽くし，精神を尽くし，思いを尽くして天の御父と隣人を愛することが本当にできるようになれば，他の多くのことはうまくいくでしょう。」（「神の愛」『リアホナ』2009年11月号，24）

- 他の全ての戒めはどのように二つの大切な戒めに基づいているのでしょうか。

生徒たちが答えるための十分な時間を取ってから，『**マスター教義に関する基本文書**』から教義テーマ9「戒め」の最後の3段落を読むように勧めます。そこに挙げられた他の幾つかの戒めに印を付けて，それらの戒めに対するわたしたちの従順さがどのように神と隣人への愛を示すことになるのか考えるように勧めてください。

セグメント4（5分）

生徒たちに自分の聖典のヨハネ22：36―39の隣の余白に，参照聖句として「マタイ5：14―16」と書き込むように勧めます。山上の垂訓で救い主はわたしたちが神と隣人に対する愛をどのように示すことができるか教えられたことを説明します。生徒たちにマタイ5：14―16を開いて，この聖句をマスター教義聖句として印を付けるように言います。この聖句では，わたしたちが周りの人々や神に愛を示す最も大切な方法の一つである戒めを，救い主が弟子たちに与えられました。

生徒たちに，マタイ5：14―16を黙読して，救い主が弟子たちに何を教えられたのかを見つけてもらいます。

- 「あなたがたの光を人々の前に輝か〔す〕」とはどんな意味だと思いますか。（マタイ5：16）
- このマスター教義聖句は，わたしたちが周りの人々に福音を分かち合う方法を理解する上で，どのような助けとなるでしょうか。（わたしたちが戒めを守り，良い模範を示すときに，周りの人々はわたしたちの選びや結果として受ける祝福を見て，福音に対してもっと心を開いてくれるようになる。）

マタイ5：14―16の横に，「**わたしたちの良い模範によって他の人々に福音を教えることができる**」という原則を書き込むように勧めてください。

生徒たちに，これまで友人や家族の誰かが戒めを守るという選びをする模範を通して自分が教えられたり，強められたりした経験がないか聞きます。自分の経験を分かち合える生徒がいれば，分かち合ってもらいます。

生徒たちに自分の聖典のマタイ5：14―16の隣の余白に，参照聖句として「ヨハネ14：15」と書き込むように勧めます。時間に余裕があれば，このマスター教義の活動として余白に書き込んだ参照聖句を，生徒たちが見つけられるように助け，この聖句を暗記できるように少し時間を取るとよいでしょう。

終わりに，『**マスター教義に関する基本文書**』の教義テーマ「戒め」の中で話し合った原則について自分の証を述べてください。

実践練習（20分）

次の活動は生徒たちが『マスター教義に関する基本文書』の「霊的な知識を得る」の部分で学んだ3つの原則を実践する助けとなるものです。それらの原則を生徒たちに思い出させるために，ホワイトボードに書くとよいでしょう。

- **信仰をもって行動する**
- **永遠の視点から概念や疑問について調べる**
- **神が定められた情報源を通してさらに理解を深める**

『**マスター教義に関する基本文書**』の教義テーマ9「戒め」を復習するように生徒たちに勧め，それから，もし彼らが戒めを守る目的をはっきりと理解していないとしたら，従うのが難しいであろう戒めは何か尋ねます。彼らの答えをホワイトボードに書きます。

生徒たちに，二人組になってホワイトボードのリストから一つ戒めを選ぶように言います。各組に以下の配付資料を渡して，それを読んで質問の答えについて話し合うように言います。

信仰をもって行動する

- 神がその戒めをなぜ与えられたのか理解するのが難しいと感じている人が，信仰をもって行動することができるようにどう励ますことができるでしょうか。

永遠の視点から概念や疑問について調べる

ヨハネ14：15，マタイ5：14－16そしてマタイ22：36－39で教えられている教義を復習してください。

- これらの聖句で教えられている教義は，あなたが選んだ戒めを誰かがもよりよく理解する上で，どのような助けとなりますか。
- あなたが選んだ戒めをこの世的ではなく，永遠の観点から見ることができるように助ける他の真理があるでしょうか。

神が定められた情報源を通してさらに理解を深める

- あなたが選んだ戒めに従う大切さを誰かが理解するうえで助けとなる事柄について，預言者は最近どんなことを教えたでしょうか。（http://www.ldschurch.jp/や教会の機関誌から見つけることができる大管長会や十二使徒定員会の会員からの説教を勧めることができます。）

生徒たちがこれらの質問について十分に話し合う時間を取った後で，ロールプレイをするように勧めます。二人組の一人の生徒が，その組が選んだ戒めについて，主がなぜ御自分の子供たちにその戒めを守るように求められるのか理解できない人の役をします。もう一人の生徒には，相手が信仰をもって行動できるように助けてもらいます。その戒めを永遠の観点から見れるように，また，神によって定められた情報源を通してその戒めについての理解を深めることができるように助けるのです。それぞれのシナリオで約10分ほどロールプレイさせてください。

ロールプレイが終わるまで十分な時間を取ってから，以下の質問から幾つか選んでクラス全体で話し合うとよいでしょう。

- 守るのが難しい戒めや，理解するのが難しい戒めがあるときに，信仰をもって行動するためにはどうすればよいでしょうか。

- 友人が悩んだり，難しいと感じたりしている戒めについて，永遠の観点から見ることができるように，あなたはどのように助けることができますか。
- 困っている友人にもっと理解を深めるように勧めたり，質問に答えたりするために，神が定められたどのような情報源を使いましたか。

この活動の終わりに，この活動を通して得た考え方や感じたことを分かち合うように生徒たちに勧めてください。

マスター教義の復習

生徒たちに，新約聖書のマスター教義聖句に目を通し，証を述べることのできる教義か原則が含まれているものを選んでもらいます。その教義や原則について証し，それについての証を得られる助けとなった経験を分かち合うように彼らに勧めます。生徒が証を述べるとき，彼らが述べている教義や原則が真実であることを聖霊が確認してくださるでしょう。また，彼らの証は信仰をもって行動するように他の人々を促すでしょう。

宗教教育
セミナリー・インスティテュート

末日聖徒
イエス・キリスト
教会

JAPANESE
4 02132 31300 1
13231 300